



# 公立鳥取環境大学

Tottori University of Environmental Studies

環境学部 環境学科

経営学部 経営学科

公立鳥取環境大学 2024



## 公立鳥取環境大学

Tottori University of Environmental Studies

〒689-1111 鳥取市若葉台北一丁目1番1号

TEL:0857-38-6720 FAX:0857-38-6709

E-mail:nyushi@kankyo-u.ac.jp

公式HP:https://www.kankyo-u.ac.jp

公式WEB



公式Twitter



公式YouTube



Tottori University of Environmental Studies 2024



環境と経営  
2つの視点を備えた  
大きな翼を手に入れよう



人と社会と自然との共生に  
貢献できる人材づくり



### 異なる視点を持つ

多角的な視点から思考を深めます。  
「環境」と「経営」の2つの視点で様々な課題に取り組みます。

### 新しい場所に行こう

鳥取をフィールドに、人、社会、自然、文化、課題などに触れることで  
新しい発想力を育みます。

### 複数専攻で学ぼう

幅広い知識が未来へ羽ばたく大きな翼になります。

### さあ、境界を越えよう

そこには、あなたの可能性を広げる  
新しい毎日が待っています。



公立鳥取環境大学 学長

### 江崎 信芳

1973年に京都大学農学部農芸化学科を卒業後、同大学大学院に進学。79年に京都大学博士(農学)を取得。その後、京都大学化学研究所に所属。83年に米国マサチューセッツ工科大学化学部への留学を経て、教授、所長に着任する。京都大学理事・副学長、名誉教授、放送大学京都学習センター所長、特任教授を歴任し現在にいたる。

特別  
サイト



常識を超えよう

### 鳥取で学ぶということ

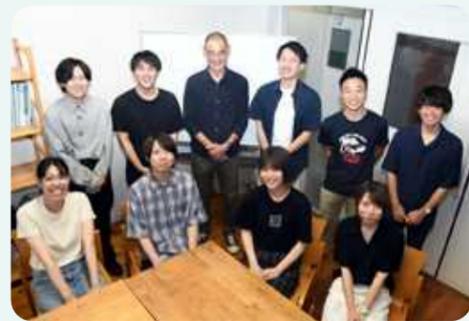
自然が豊かである一方で、課題先進県でもある鳥取県で学ぶということは、過疎や高齢化など、現代社会が抱える課題に触れることであり、便利な近代社会が失ってしまった「本当の豊かさ」と出会うことでもあります。環境と経営2つの視点を持ちながら、人と社会と自然が共生する「本当の豊かさ」について考えられる人材を育成します。



自分を超えよう

### 小規模大学で学ぶということ

皆さんはこれから、多くの経験を通して学んでいく中で、時には立ち止まることもあるでしょう。一人で乗り越えられないときは、周りの人を頼ってください。本学は、小規模な大学だからこそ、学生一人ひとりに教職員の目が行き届きやすい環境で学ぶことができます。また、学生同士の協力や助け合いが生まれ、壁を乗り越える力を養うことができます。



フィールドを超えよう

### 複数の領域を学ぶということ

本学では、学びの土台を築く「人間形成教育」をはじめ、持続可能な社会に貢献する「SDGs」17の目標に関する多彩な科目、そして主専攻以外の複数の専門知識を修得できる「副専攻制度」を採用しています。複数の領域の知識をもとに課題解決に向け、新たな視点と柔軟性を発揮できる人材の育成を目指しています。



〈領域を超える多彩な学び〉



# CONTENTS

- 05 境界を超えよう 卒業生インタビュー
- 06 境界を超えよう 在学生インタビュー
- 07 基本理念・特色
- 08 学部・学修分野・教職課程

## 09 環境学部

## 19 経営学部

- 29 学びの特色1 人間形成教育
- 32 学びの特色2 プロジェクト研究
- 33 学びの特色3 副専攻制度
- 37 学びの特色4 国際交流
- 38 学びの特色5 SDGs(持続可能な開発目標)

- 39 大学院
- 40 附属研究機関
  - ・サステナビリティ研究所
  - ・地域イノベーション研究センター

## 41 就職支援

- 45 学生生活・経済支援
- 46 在学生の声
- 47 キャンパスマップ
- 49 キャンパスライフ
- 50 クラブ・サークル
- 51 とっとりライフ
- 52 在学生居住データ
- 53 在学生出身地

## 54 入試情報

## 卒業生インタビュー

特別  
サイト ▶ 

鳥取県庁 農林技師

環境学部  
大森 祐貴さん  
2018年度卒業  
(愛媛県出身)自分を成長させてくれた  
鳥取県に貢献したい

現在は山の中に林道(木材を搬出するための道)を作る仕事をしており、設計や積算、発注、現場の指揮などを行っています。公立鳥取環境大学に進学したのは、オープンキャンパスに参加し、自分の関心のある自然環境以外にも海洋環境や住宅環境など、いろいろな分野の先生がいることに魅力を感じたことがきっかけです。「自分を成長させてくれた鳥取県に貢献したい」という思いで、鳥取県の農林技師の仕事に就きました。



株式会社 鳥取銀行

経営学部  
奥村 美鈴さん  
2017年度卒業  
(鳥取県出身)地域とともに成長したい人に  
寄り添える行員が目標

事業のための融資や助成などについて法人や個人事業主に対するサポートを行っています。新しくカフェを開業したいという事業主の方に対しては、融資だけではなく、資金の管理方法、決済方法など店舗運営に関するアドバイスもさせていただきます。ともに成長していくためにお客様の声を聴くこと、必要な情報をキャッチするアンテナを張っておくことを心掛け、お客様が迷わないよう自信を持ってサポートするようにしています。



山崎製パン 株式会社

環境学部  
山本 直幹さん  
2015年度卒業  
(京都府出身)多用な視点で物事を考えることが  
コミュニケーションで役立つ

量販店と取引の商談をしたり、店舗で行う催事についてご提案したりしています。提案の際に、商品の魅力だけでなく、環境に配慮していることもしっかりと伝えるようにしています。また、取引先の方との会話では経済・経営に精通していることがコミュニケーションにおいて大切だと思います。大学での学部を越えた学びを通して、多様な視点、俯瞰的に見る力を養えたことは、今の仕事に大いに役立っています。



株式会社 中国銀行

経営学部  
守屋 孝洋さん  
2017年度卒業  
(岡山県出身)経営と環境  
2つの視点が強みになる

事業規模拡大や成長のために、取引先の強みや弱みを分析し、それを踏まえたうえで融資などの提案を行います。その際マーケティングの講義で学んだSWOT分析が非常に役に立ちます。SWOTとは外部・内部それぞれの強みと弱みを把握し、どの部分に手を加えていくか考察するものです。また、これからの社会で企業が発展していくためには環境への配慮も必要になるため、経営と環境の視点を持っていることは自身の強みになっていると思います。



監査法人に就職

経営学部  
今峰 佐紀人さん  
2022年度卒業  
(京都府出身)環境大には将来に役立つ  
幅広い学びがある

簿記についてより知識を深めて、将来は会計の専門家になりたいと思い、公認会計士試験に挑戦。勉強を習慣化したり、理解不足にならないように対策をしたりした結果、在学中に合格できました。公認会計士としての学びはもちろん、企業の考え方や行動の意味を理解することができるマーケティングや、これからの企業経営には欠かせない環境に関する知識など、幅広い学びを通して将来に役立つ対応力を身につけることができました。



▲奨励されている資格を取得すると大学から表彰され、モチベーションもアップ!

## 在学生インタビュー

特別  
サイト ▶ 

1

田中 詩織さん  
環境学部(北海道出身)文化の違いが面白い。  
留学生との出会いで積極的に

留学生サポーターに参加するようになり、引っ込み思案な性格が大きく変化しました。主な活動は留学生の授業やレポート作成のサポート。学業との両立が不安でしたが、始めてみたら楽しいことばかり。勉強だけでなく、それぞれの国の文化や価値観を聞いたり話したりすることがとても面白く、中国、台湾、マレーシアなどいつの間にか国際色豊かな友人ができました。留学生は日本人と比べ、人との関わりが濃いです!教室に知り合いが来たら必ず側へ行き挨拶、お菓子があれば「分け合おう」と声をかけてくれます。人間関係を築くのが苦手でしたが、好奇心が先に立ち、興味が湧いたら話しかける、そんな積極性を身に付けることができました。



2

大崎 蓮さん  
環境学部(鳥取県出身)理科を学べば学ぶほど  
世界の解像度が上がる

理科の教員をめざして学んでいます。理科の面白さは「学ぶほどに世界の解像度が上がる」ことだと思います。身の周りの不思議なことに対して、理科を学ぶと説明できるようになります。大学では、どうすれば子どもたちが楽しく勉強できるか具体的な方法について学んでいます。教員として必要な力の一つに、地域の方たちと連携する力があると思います。私が最近やりたいと考えているのは、子どもたちの自習のための環境づくりです。



3

藏永 愛久さん  
経営学部(鳥取県出身)人とかかわることが好き。  
SDGsに関するイベントも企画

アジア経済に興味を持ち、ゼミでは東南アジアの政治や経済に関する現代史などを学んでいます。そのきっかけは中国留学を決めたことでした。世界に飛び出し、多くの人と交流することで自分の幅を広げたいと考えたのです。私は人とかかわることが好きなので、SDGsに関連したごみ問題の写真展も企画しました。そこでは来場者との対話を通して自分の考えを深めることもできました。今後も人とかかわりながら挑戦を続けていきたいです。



4

横田 凧菜さん  
経営学部(宮城県出身)地域に目を向けた  
学生主体の活動に参加

地元の大学生が主体となって企画・運営を行う「もちがせ週末住人」という活動に参加しています。鳥取市内だけでなく全国から用瀬町の住民として一定期間暮らしたいという学生を募集。伝統行事や様々な活動に参加しながら地元住民との交流を図る取り組みです。活動に参加したきっかけは、地域経営論という講義を受けて、実際に地域に出て活動したいと思うようになったからです。また、先に参加していた友人の活動も楽しそうだったので、私もやってみたくて始めました。現在、活動の一環として、都市部と地方部のコミュニティの違いについての調査を担当。サークル感覚で、地元の方々や学生との交流も楽しんでいます。



# 公立鳥取環境大学は 鳥取県と鳥取市が設立した公立大学です

## 公立鳥取環境大学の基本理念

公立鳥取環境大学は「人と社会と自然との共生」の実現に貢献する有為な人材の育成と創造的な学術研究を行うことを基本理念としています。

## 公立鳥取環境大学の目的

公立鳥取環境大学は、広く知識を授け、深く専門の学術を教育・研究し、人と社会と自然との共生を実現していくため、豊かな人間性にあふれ、自ら考え行動し、力強く生きる人間を育成します。また、持続的な社会の発展を目指し、地域の自然環境や人と人とのつながりを大切にするローカルな視点を持ちながら、自然環境の保全と人類の経済発展の両面にわたりグローバルに活躍できるバランス感覚に優れた、地域とつながり、地域を担う人材、世界にはばたく人材を育成します。



特色

## 公立鳥取環境大学の特色

- ### 1 目指す大学像

**ローカルかつグローバルに環境と経営を学ぶ大学**

「経営」視点をもった環境学、「環境」を意識した経営学がいま求められています。本学で行っている、環境と経営の交わる教育と研究が国内外から注目されており、日本各地から学生が集まっています。鳥取県をフィールドに研究を展開し、地域の発展に貢献する取り組みや、海外の大学と連携する国際交流活動も行っています。


- ### 2 人材育成の目標

**10年後、20年後にますます社会で活躍できる知力と人間力に優れた人材を育成**

本学では「人間形成科目」を土台に「学部専門科目」を学修します。さらに「プロジェクト研究」で学ぶ意欲や好奇心を引き出すことで知力を高めます。また教員、職員、鳥取の人々との思いやりあふれる交流によって人間力を強化。知力と人間力を備えることで、時代の変化に対応できるたくましい人材を育成します。


- ### 3 学びのスタイル

**いつでも利用可能な学生研究室**

本学の学生研究室は、1年次からいつでも利用可能です。学生たちは、研究について仲間と議論を深めたり、資格試験対策やレポート作成などに利用しています。全国的にも珍しいスタイルです。

**学生と先生との距離の近さが自慢**

学生研究室と教員研究室の距離は廊下をはさんで約2m。小規模な大学のため教員の目も行き届きやすく、親身なサポートを受けることができます。物理的にも精神的にも「先生との距離が近い」、さらに「面倒見がいい」との学生の声が多く寄せられています。

**就職活動に役立つプログラム**

自ら学ぼうとする力や仲間とのチームワークが身に付くプロジェクト研究、異文化にふれる海外への短期・長期留学、実際の仕事を体験するインターンシップ、資格取得を支援する学内講座など、就職活動に役立つプログラムを用意しています。

# 2つの学部と7つの学修分野 1つの教職課程をキーワードで紹介

## 環境学部

定員 150名

「環境」を実践的に学ぶフィールドワークに1年次から取り組みます。自然環境保全、循環型社会形成、人間環境といった学修分野について幅広い関連科目を学びます。また、教職課程も設置しています。環境問題解決能力をはじめ、人間力を育成していきます。

### 自然環境保全分野

植物/環境アセスメント/生態系/動物/地質/農林水産業/海洋/気象予報士/地球システム/森林インストラクター/化石


13ページへ▶

### 循環型社会形成分野

資源循環マネジメント/水/バイオマスエネルギー/海洋エネルギー/微生物/大気汚染/リサイクル


14ページへ▶

### 人間環境分野

建築/歴史遺産保全/インテリアコーディネーター/都市計画/農村/エコハウス/環境と文化/グリーンデザイン


15ページへ▶

### 教職課程

理科の教員/教育実習/科学実験/進路指導/理科指導法/心理/行政


16ページへ▶

## 経営学部

定員 150名

多様なビジネス社会で活躍するために必要なマネジメント基礎力をはじめ、企業、会計・ファイナンス、地域、情報の視点から経営学を修得。鳥取県を学びの舞台に地域課題の解決能力、提案力や実行力を養います。

### 企業経営分野

組織マネジメント/商品開発/マーケティング/ブランド/経営分析/宅地建物取引士/イベントに出店


23ページへ▶

### 会計・ファイナンス分野

ファイナンシャルプランナー/簿記・会計/税理士/管理会計/公認会計士/金融機関/財務部門


24ページへ▶

### 地域経営分野

地域資源/地方行政/旅行業務取扱管理者/地域振興/中小企業診断士/地域ブランド/観光


25ページへ▶

### 経営情報分野

データ分析/プログラミング/情報通信技術/システム運用/コンピュータスキル/基本情報技術者/インターネット


26ページへ▶



# 環境学部

Faculty of Environmental Studies

「環境学科」



## 環境学部長メッセージ

遠藤 由美子 特任教授

専門 建築・インテリア意匠設計、環境建築、福祉住環境

的確な判断力と  
一生学び続ける力を身につけよう

環境学部では、環境問題について低年次で全体像を理解したうえで専門的な分野に入っていきます。さらに分野を横断した広い視野を養うために、経営学、AI・数理・データサイエンス、英語実践、地域実践の副専攻を履修できることも特色です。学修中での的確な判断力を身につけられるように、社会で活躍するための実践力を養う体験型の授業を多く取り入れています。実際の体験の中から創造的な解決能力は生まれます。学生の皆さんには「失敗」や「予測外の出来事」からも多くを学んでほしいと思います。また、議論の場では、相手の意見に素直に耳を傾ける対話を心がけましょう。そのような姿勢が、学びにおける成長と社会課題の解決に繋がります。生きることは学び続けることです。一生学び続けられるための基礎知識と対応力を本学で身につけてください。

模擬授業  
公開中!

公式  
YouTube  
チャンネル

大学の授業の様子、環境学部の学修内容を模擬授業動画として公開しています。ぜひ視聴ください。

特別  
サイト

環境学部

## 学びの特徴

- 環境問題と専門分野**  
環境学部では、自然環境保全、循環型社会形成、人間環境という3つの側面から環境について考えます。1年次は環境学を幅広く学び、3年次以降はそれぞれの専門分野についてより深く学修していきます。
- 現場に参加**  
大学で学術的な研究をするだけでなく、実際に現場が抱えている課題に触れることで実践的な知識を身に付けることができます。企業、地方公共団体へ調査・研究した結果の報告、さらには課題に対する提案を行うこともあります。
- 環境学フィールド演習**  
フィールド活動の基礎的なノウハウを修得し、体験を通して理解を深めます。そのため、3つの専門分野(自然環境保全、循環型社会形成、人間環境)の領域を順次、バランスよく取り上げて学びます。
- 氷ノ山登山**  
環境学部の1年生約150名で、鳥取県と兵庫県の県境にあり、中国地方では大山に次ぐ高峰である標高1,510mの氷ノ山に登ります。フィールド演習として、教授陣とともに植物や地質などの観察を行いながら、豊かな自然を楽しみます。

身について社会に貢献したい  
実験や研究の方法を身につけて

身近な課題を物質の化学分析を通して解決したい

農村などの魅力を活かして地域づくりに貢献したい

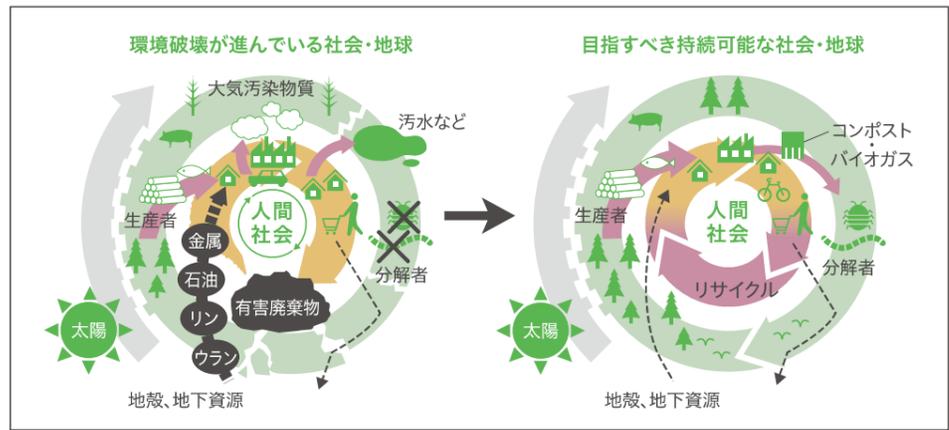
学ぶ楽しさを子どもたちに伝えていきたい

自然環境保全分野

循環型社会形成分野

人間環境分野

教職課程



持続可能社会の概念図

凡例

- 自然環境保全系科目
- 循環型社会形成系科目
- 人間環境系科目

# 「環境」の専門知識と技術を学び 社会のために提案・実践できる能力を養います

「環境」について実践的に学ぶフィールドワークに1年次から取り組むことができるカリキュラムとなっています。また、自然環境保全、循環型社会形成、人間環境など幅広い分野の環境関連科目も用意。「人と社会と自然との共生」に向けた「環境」問題解決能力をはじめ、行動力やコミュニケーション力といった将来へつなげる人間力にも磨きをかけます。

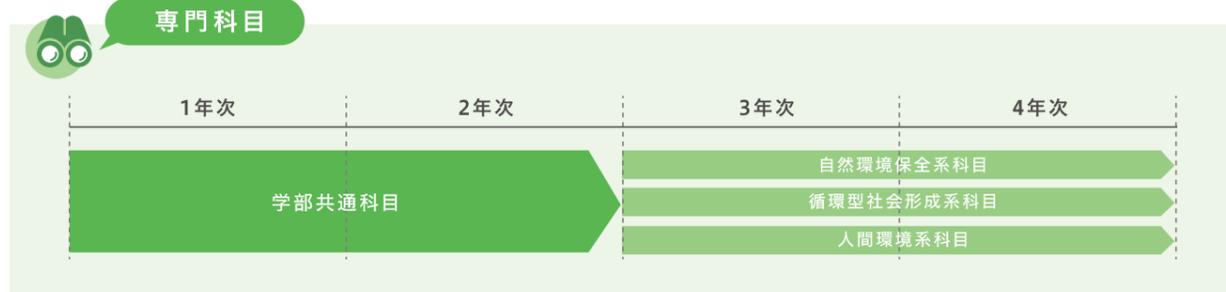


環境学部

環境学部

### 学びのポイント

<b>Point1</b> 多様な分野、研究内容に触れることで興味・関心が広がります。	<b>Point2</b> 自然へ、田舎へ、まちへフィールドワークが充実しています。	<b>Point3</b> 調査・実験・分析の技術を実践的に身に付けることができます。	<b>Point4</b> 教員との密なコミュニケーションにより学修をサポートします。
--	---	--	--



### 学修分野

学修分野	学びの内容	進路イメージ	取得目標資格
自然環境保全	動物、植物、大気、水、地形、地質を中心に自然環境のメカニズムについての基礎知識を学び、地上気象観測や衛星観測を通じたモニタリング技術などの応用技術を学びます。	民間企業や公共団体等で、自然環境保護、環境アセスメントや農林水産業に関連する業務に従事、あるいは大学院へ進学し研究者を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境計量士</li> <li>●気象予報士</li> <li>●環境カウンセラー</li> <li>●森林インストラクター など</li> </ul>
循環型社会形成	廃棄物処理、環境に優しいバイオマスエネルギーの有効活用について考察します。また、行政や社会制度も学ぶことで、総合的に循環型社会の形成について学びます。	エネルギーや産業廃棄物関連の民間企業のみならず、あらゆる業種において環境に関連する業務を担います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公害防止管理者</li> <li>●廃棄物処理施設技術管理者</li> <li>●ピオトップ管理士(計画管理士)</li> <li>●3R・低炭素社会検定 など</li> </ul>
人間環境	人間が快適な生活をするために作り出してきた住まいをはじめ、都市、まちづくり、景観、文化などの人間と社会をとりまく環境について、自然と共生するあり方を学びます。	民間企業や公共団体等で、住まい、都市、景観、まちづくり、地域振興などの計画・設計等の業務を担います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●技術士補(環境部門・建設部門)</li> <li>●インテリアコーディネーター</li> <li>●CAD検定 など</li> </ul>
教職課程	教員免許を取得するには、環境学部の卒業要件を満たすのに加えて、教職課程専門科目、教育実習、その他免許取得のために必要な科目を修得する必要があります。	環境問題に関する深い知識と基本的理解を備えた、中学・高校の理科担当教諭を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中学・高校教諭一種免許状(理科)</li> </ul>

### 人間形成科目

科目名	1年次	2年次	3年次	
人間形成科目	<b>【総合教育科目】</b> ○現代と人権 ○日本国憲法 ◎鳥取県 ○現代社会と健康 ○スポーツ実技 ◎文章作成1・2 ○数理基礎 ○特別講義A ○特別演習A~C ○文学 ○地理学入門 ○SDGs基礎 ◎環境学概論 ○経営学入門 ○現代経済学入門 ○統計学入門 <b>【外国語科目】</b> ◎Intensive English1~4 ○英語活動A・B ○海外英語研修A~C ○海外語学実習A・B ○基礎英語能力養成A・B ○応用英語能力養成A・B <b>【情報処理科目】</b> ◎情報リテラシ1・2 <b>【キャリアデザイン科目】</b> ◎キャリアデザインA ○基礎インターンシップ <b>【総合演習科目】</b> ◎プロジェクト研究1・2	<b>【総合教育科目】</b> ○特別講義B ○離散数学 ○データ構造とアルゴリズム ○計算機の基礎 ○AMD実践演習A・B ○国際関係入門 ○経済史 <b>【外国語科目】</b> ◎Intensive English5~8 ○中国語1・2 ○韓国語1・2 ○ロシア語1・2 ◎Advanced English1~8 <b>【キャリアデザイン科目】</b> ◎キャリアデザインB <b>【総合演習科目】</b> ◎プロジェクト研究3・4	<b>【総合教育科目】</b> ○麒麟の知 ○AI ○画像処理 ○AI実践演習 ○パターン認識 <b>【外国語科目】</b> ○英語特別講義A~D	

### 専門科目

科目名	1年次	2年次	3年次	4年次
学部共通科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自然環境保全概論</li> <li>●循環型社会形成概論</li> <li>●人間環境概論</li> <li>○環境と文明</li> <li>○微分積分学</li> <li>○線形代数学</li> <li>○化学概論1・2</li> <li>○物理学概論1・2</li> <li>○生物学概論</li> <li>○地学概論</li> <li>○環境学フィールド演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人間居住論</li> <li>○環境政策論</li> <li>○環境と倫理</li> <li>○環境経済論</li> <li>○環境情報学概論</li> <li>○環境物理学</li> <li>○環境法概論</li> <li>○環境行政論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地球観測学</li> <li>○環境データベース論</li> <li>○環境アセスメント概論</li> </ul>	
自然環境保全系科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○植物学概論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○化学実験</li> <li>○地学実験</li> <li>○生物学実験</li> <li>○物理学実験</li> <li>○動物行動学</li> <li>○生態学基礎</li> <li>○生態学概論</li> <li>○海洋環境学</li> <li>○水域生態学</li> <li>○地球システム学</li> <li>○気象学概論</li> <li>○バイオクリマ入門</li> <li>○環境地質学</li> <li>○森林科学概論</li> <li>○水環境学</li> <li>○自然環境保全実習・演習A</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保全生物学</li> <li>○漁業資源保全学</li> <li>○環境ゲノム科学</li> <li>○森林資源管理論</li> <li>○森林政策論</li> <li>○基礎土壌学</li> <li>○環境土壌学</li> <li>○自然環境保全実習・演習B</li> </ul>	
循環型社会形成系科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○廃棄物学入門</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境とエネルギー</li> <li>○廃棄物マネジメント学</li> <li>○応用化学概論</li> <li>○3R工学</li> <li>○水環境工学1・2</li> <li>○応用微生物学概論</li> <li>○循環型社会形成実習・演習A</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大気汚染防止</li> <li>○廃棄物処理技術</li> <li>○水処理技術</li> <li>○バイオマス変換論</li> <li>○有機資源利用学</li> <li>○地域エネルギーシステム論</li> <li>○循環型社会形成実習・演習B</li> </ul>	
人間環境系科目		<ul style="list-style-type: none"> <li>○グリーンデザイン</li> <li>○自然環境と文化</li> <li>○住まいと建築の歴史</li> <li>○居住インテリア計画</li> <li>○都市居住計画</li> <li>○人間環境実習・演習A</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○都市の自然環境形成</li> <li>○景観計画と保全管理</li> <li>○都市の持続的発展</li> <li>○農村の持続的発展</li> <li>○ジオパークと地域づくり</li> <li>○地域生活文化論</li> <li>○歴史遺産保全論</li> <li>○エコハウス計画</li> <li>○福祉住環境計画</li> <li>○途上国の都市発展</li> <li>○自然素材と環境</li> <li>○木質構造計画</li> <li>○人間環境実習・演習B</li> </ul>	
演習科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境特別演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鳥取グリーンベンチャー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○インターンシップ</li> <li>◎環境学ゼミ・演習1・2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎卒業研究</li> </ul>
教職課程科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○理科指導法1・2</li> <li>○教育原理</li> <li>○教職論</li> <li>○教育心理学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別支援教育の理論と実践</li> <li>○教育課程論</li> <li>○教育の方法と技術(ICT活用含む)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○理科指導法3・4</li> <li>○教育の制度と経営</li> <li>○教育行政学</li> <li>○道徳教育の理論と指導法</li> <li>○特別活動及び総合的な学習の時間の指導法</li> <li>○生徒・進路指導論</li> <li>○教育相談</li> <li>○環境教育論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育実習事前事後指導</li> <li>○教育実習(中)</li> <li>○教育実習(高)</li> <li>○教職実践演習(中・高)</li> </ul>

※上記科目は2023年4月現在のものです。変更になる場合があります。

# 自然環境保全分野

自然環境の成り立ちについて基礎を中心に学修します。自然環境に関する幅広い知識を持ったうえで、将来、自然環境保護や環境アセスメント関係、あるいは農林水産業に関連する分野での活躍を希望する学生や、さらに大学院へ進学して自然環境についてより深く学ぶことを希望している学生向けです。

- ① 大気、水、地形、地質など自然環境のメカニズムを学びます。
- ② 動物、植物の生態系の視点から生物に関する知識を修得します。
- ③ 森林、河川、海岸などのフィールドでの調査・演習を重視しています。

**Myゼミレポート**

角野ゼミ

**金梨花**さん(大阪府出身)

**砂漠に関する論文を読み、河川水質のモデル化という実験も**

私は砂漠に興味があったため、3年前期では砂漠における水の保持に関する論文を読みました。後期では実験に取り組んだのですが、日本で砂漠の実験は難しいことから、先生の研究である河川水質のモデル化のお手伝いをしました。川の水を複数の場所で採取して成分を比較することで、地形の変化や周辺の土壌・植物・岩石などを予測し、モデル化するという実験です。この経験を通して、私たちの生活に役立っているさまざまなものがいかに多くの実験の積み重ねによって成り立っているかを知りました。将来は、子どもたちとかかわることで「ちょっと頑張ってみようかな」と思ってもらえるような、努力することの尊さを伝えられるような教員をめざしています。そのためにも研究にも力を入れて学生生活を送りたいと思います。

▲正確なデータを蓄積することが重要になります

特別サイト

**Pickup研究室**

**土壌から過去と現在を知ることで未来予測につなぐ**

私の研究には2つのトピックがあります。1つは地球温暖化にかかわる土壌中の有機物に関する研究です。長い年月をかけて蓄積された有機物は、さまざまな人間活動によって減っていきます。有機物は分解すると二酸化炭素が出るため、これが大気中にどれくらい放出されるようになるのか予測します。もう1つは土壌侵食に関する研究です。土壌が水系にどのように移動するのか、上流域の変化をとらえて明らかにする方法を探索しています。このように土壌、つまり過去と現在をよく知ることで未来を予測したいと考えています。

特別サイト

角野 貴信  
准教授  
土壌学  
生物地球化学

▲森の中で黒ボク土を調査中

**Pickup研究室**

**サンゴから地球の過去、現在、未来を読み解く!!**

古生物の中でも特に専門的に研究しているのがサンゴです。あまり知られていませんが、サンゴは温暖な浅い海だけでなく、冷たい海や深海にも生息しています。私はそのような冷たい海や深海にすむサンゴを研究し、過去から現在までの地球環境を調べています。最近では、第61次南極地域観測隊にも参加し、南極にすむサンゴの研究を始めました。このようなサンゴはまだまだ分かっていないことだらけですので、私の研究室では様々な研究機器を駆使してその謎を解き明かそうとしています。

特別サイト

徳田 悠希  
准教授  
古生物学  
深海生物学

▲南極で調査中

# 循環型社会形成分野

持続可能な社会の構築に求められる再生可能エネルギーの活用方法や廃棄物処理などについて、基礎から応用までを一貫して学びます。エネルギー関連や産業廃棄物処理関係の民間企業のみならず、一般企業や地方自治体の環境関連の部署での活躍を希望する学生向けです。

- ① 天然資源の活用、廃棄物処理、リサイクルについて研究します。
- ② 上記の工学的技術分野を中心に行政や社会制度についても探求します。
- ③ eco検定など、環境に関する資格取得が目標とする講義を実施します。

**Myゼミレポート**

戸苅ゼミ

**石井 宏樹**さん(兵庫県出身)

**メタン発酵をエネルギーに活用。研究はワクワク感の連続**

下水汚泥などの有機物を微生物が分解する際発生するメタンガスをエネルギーとして活用しよう、という研究をしています。この研究分野には、まだわかっていないことも多く、それだけにワクワク感や新しいことに挑戦している面白さがあります。大切なのは好奇心を持つことです。研究には生物のことだけでなく、物理や化学などさまざまな分野の知識が必要になってきますが、知識を幅広く身につけることで「この知識がこういうふうに関係するの？」という発見があります。またゼミでは学生が発表する機会も多く、人に説明することで理解が深まっていきます。自分が面白いと思うことを見つければ、自ずと目標は定まります。そして目的意識を持って行動すれば、学生生活を充実させることができると思います。

▲必要な知識やスキルを、実践を通して身につけます

特別サイト

**Pickup研究室**

**キノコの分解力を応用してゴムの再資源化をめざす**

キノコが持つ特殊な分解力を応用して、タイヤのような加硫したゴムの再資源化をめざしています。ゼミでは学生たちと、キノコの分解メカニズムの解析、そしてゴムが再資源化するプロセスの開発を同時に進めています。この研究の面白さは、誰もやっていないところにあります。世界でも類を見ない唯一無二の研究であり、すべてがオリジナル、先例のないパイオニアだといえます。研究は山あり谷ありでうまくいかないことも多々ありますが、学生には失敗してもすぐに結論を出さず、なぜダメなのかを徹底的に考えて、うまくいく方法を模索する習慣を身につけてほしいと思います。

特別サイト

佐藤 伸  
准教授  
バイオマス変換学  
応用微生物学

▲トライ&エラーが成功への近道

**Pickup研究室**

**微生物の力で下水からメタンを回収し、エネルギーを創出**

下水処理などの水処理技術について研究しています。微生物の力を使った水処理方式の一つに「メタン発酵」があります。微生物が下水汚泥などの有機物を分解する際に発生するバイオガスにはメタンが含まれており、燃やすことでエネルギーに変えることができます。「下水からより多くのメタンを発生させるためにはどうすれば良いか?」、「様々な廃水や廃棄物を混ぜてメタン発酵を行うとどうなるか?」などを研究しています。下水は有用なバイオマス資源です。これからは処理・処分ではなく、再生・利用することが求められており、そのための研究は大変やりがいのあるものです。

特別サイト

戸苅 丈仁  
准教授  
上下水道工学  
水環境工学

▲神戸市東灘処理場では下水処理場での新技術実証実験を見学しました

# 人間環境分野

人間が生活をするために構築した住まいをはじめ、都市、景観、まちづくり、地域資源、文化などの人間と社会をとりまく環境が自然と持続的に共生するあり方について学修します。住まい、都市、景観、まちづくり、地域振興などの計画・設計等に携わる民間企業や公共団体等での活躍を希望する学生向けです。

- ① 環境に配慮した暮らしを実現する居住空間を学びます。
- ② 持続的に利用できる可能性あふれる住居や都市を研究します。
- ③ 手描き製図とCADによる製図にも取り組みます。

**Myゼミレポート**

山口ゼミ

**留岡 あみ**さん(香川県出身)

**エゴマ栽培や商品開発を通じた地域活性化について研究**

ゼミでは地域活性化について学んでいます。鳥取県の若桜地方で行われているエゴマ栽培を、地域の方たちと一緒に種まきから草取り、収穫、脱穀まで手がけています。大学祭などでは、エゴマを使った商品の販売も行いました。栽培した実は主におにぎりの具材やエゴマ油として使い、収穫した葉はおにぎりを包み、風味付けとして活用しました。卒論のテーマは、先生がいくつか方向性を示してくださっているので、その中から興味のあるものを見つけないかと思っています。例えば6次産業というものとは通常、1次産業から発生していくケースが多いのですが、3次から1次へと逆に働きかけるような取り組みがあると知りました。論文もそうした事例を中心に読んでいます。先生は学生の意思を尊重してくださるため、学生たちは自由に学んでいます。

▲ゼミの先輩やフィールドワークなどでの人とのつながりを大切にしています

**Pickup研究室**

**農村に存在するナレッジの継承など地域の課題解決について考える**

農村には、作物が不作の年でも収穫量を確保する栽培ノウハウや気候を読む知識など、言語化が難しい知識(ナレッジ)が数多く存在します。こうした知識の多くは重要性が高いにもかかわらず、次世代へ継承できていないことが課題となっています。他にも、交通空白地の拡大という課題もあります。高齢化が進む農村地域の公共交通機関はバスがほとんどですが、財政負担が非常に大きく、路線の廃止が検討されています。廃止後、地域の人の移動を支えるために何ができるのかについて研究しています。

山口 創 准教授  
農村計画学  
農業経営学

▲地域の方へのインタビュー調査の様子

**Pickup研究室**

**分離した都市空間の機能をいかに共存させるかを考える**

建築はそもそもミクスドユース(複合用途)が普通でしたが、近代建築では機能を単純化し、「住むところ」「働くところ」というように分離させてきました。しかし近年はコンパクトシティという概念もあるように、いろいろな機能をいかに共存させるかが注目されています。学生はゼミを通して身近にある広場や商店街といった空間を一つのケーススタディとして学ぶことができます。ゼミのモットーは「そこに立っていれば、そこでしか見えない風景が獲得できる」。体験する前には実感がわきませんが、調査などを体験することで何が到達できていて何が足りないかなどが見えてきます。

張 漢賢 教授  
都市計画学  
人間居住論

▲ディスカッションでお互いの発表を聞く

# 教職課程

中学・高校「理科」の教員を目指す学生向けです。  
なお、教員免許資格の取得には教職に関する追加の単位が必要です。

- ① 生徒とのふれあいが好きで理科教育に熱意を持つ学生に最適な課程です。
- ② 教える土台となる物理、化学、生物、地学の基礎・応用をしっかり学びます。
- ③ 創造力が豊かで実験や実習のできる教員を目指します。

**Myゼミレポート**

千代西尾ゼミ

**橋本 愛加**さん(石川県出身)

**みんなで支え合いながらよりよい授業を作っていく**

中学の理科の教員をめざしています。模擬授業では、自分で授業内容や評価規準を考え、仲間たちを生徒に見立てて授業を行います。しっかり準備して模擬授業に臨んでも、計画通りにいかないこともあります。仲間たちから授業に対するフィードバックをもらうことで改善に活かしています。また、中学校の理科教員だったゼミの千代西尾先生から現場の話を伺うことで刺激を受けています。状況に応じた指導方法はもちろんですが、先生自身の趣味を活かした生徒への興味づけの仕方は、教員としての大きな強みになると思います。私もそんな引出しの多い教員になりたいです。

▲ゼミの千代西尾先生はとても多趣味で、話がおもしろいです

**教員採用試験合格者**

**子どもたちが心を開いて、信頼できる教師を目指して**

学校は子どもたちが楽しみに通う場所であってほしいと考えています。そのためには子どもたちが心を開いて接することができる教師の存在が不可欠です。3週間の教育実習では、実際に子どもたちと触れ合うなかで、目標とする教師としての在り方を確認できる有意義な時間を過ごすことができました。しかし、3週間という短期間で信頼関係を築くのはとても難しく、今後の課題のひとつとなりました。その状況下で心強かったのは、ゼミの藤田先生からいただいた「何かあればいつでも相談に乗るから」という言葉。「万が一何かあっても大丈夫」という心の支えになり、実習を乗り越えることができました。

棟安 大貴さん  
(兵庫県出身)  
2022年度卒業

▲「勉強は楽しい」ことを伝えたい

**教員採用試験合格者**

**子どもたちに将来思い出してもらえるような教員に**

教員をめざしたのは、中学のときの理科の先生がきっかけです。大学では教職課程以外に環境学部で多彩な分野の先生から学ぶことで視野を広げることができます。そのため教育実習では、単に担当範囲だけを教えるのではなく、他分野の話を織り交ぜながら生徒に話しました。個性の異なる生徒と向き合うことは難しいですが、幅広い知識を活かして一人ひとりと向き合えたと思います。教員採用試験には合格しましたが、より専門性を深めるために教育大学の大学院へ進学することを決意。生徒たちからもらったメッセージ付きの色紙を励みに、子どもたちが人生のふとしたタイミングで思い出してくれるような教員をめざします。

林部 公靖さん  
(大阪府出身)  
2022年度卒業

▲生徒一人ひとりと向き合う難しさも実感

**環境学部長**  
えんどう ゆみこ  
**遠藤 由美子** 特任教授

【専門】  
エコハウス、生活環境学

住宅内で消費するエネルギーを考えることは身近でありながら地球環境に大きな影響力を持ちます。自然エネルギーを活用する設備と空間設計、エネルギー消費低減のディテールを探求し、住宅の寿命を延ばして活用することにつながります。

**副学部長**  
ねもと あきひこ  
**根本 昌彦** 教授

【専門】  
森林資源管理学

私の関心は森林空間が持つ多様な役割を認識した上で、森林を持続可能な形で利用するための方策を示すことにあります。学生には問題を環境学・生態学的に把握すると同時に、経済学や社会学、政策科学的な面からアプローチすることを期待しています。

**サステナビリティ研究所長**  
たじま まさき  
**田島 正喜** 教授

【専門】  
環境・エネルギーシステム論  
水素製造システム  
バイオマスエネルギー変換技術

バイオマスなどの再生可能エネルギーを用いた水素製造に関する研究を行っています。水素はCO<sub>2</sub>を全く発生することなく使用できるため、環境に優しいエネルギーです。燃料電池自動車の燃料や、発電、熱利用にも使えます。興味深くないですか？

とがの たけと  
**戸莉 丈仁** 准教授

【専門】  
水処理、汚泥処理、  
水質保全下水道工学

皆さんの家のトイレ、キッチン、お風呂などからの生活排水は、下水処理場、浄化槽などの処理施設で処理され、一定の水質を確保した上で、公共用水域に排出されます。水質保全、水処理、汚泥処理の仕組みについて一緒に学びましょう。

ゆほら かずひろ  
**柚洞 一央** 准教授

【専門】  
地理学、ジオパーク  
ジオツーリズム、  
地域づくり

「普通」ってなんでしょう。場所が変われば、「普通」も変わります。場所の比較から、地球の気持ち、人の気持ちを考えます。プラタモリのように、地域を描く力を身に付けませんか？

さとう しん  
**佐藤 伸** 准教授

【専門】  
バイオマス変換学  
応用微生物学

微生物は私たちの身近にたくさんいます。そのチカラを利用して未利用資源を有益なものに変換する研究に取り組んでいます。最近、ゴムを分解するキノコを鳥取で見つけました。このキノコの力が廃ガムの再資源化に役立つのではないかと期待されています。微生物のチカラを活かして新しいモノを生み出す研究に、一緒に取り組んでみませんか？

あさかわ しげお  
**浅川 滋男** 教授

【専門】  
文化遺産学、住環境保全論  
建築人類学

大学は工学部だったのですが、得意科目は世界史・地理・英語で、長い間文化財研究所で働きました。環境学部の人間環境プログラムには、歴史・考古・地理・民族等の専門家がいます。文系志向の方も安心して受験してください。

**副学長・学生支援センター長**  
こばやし ともみち  
**小林 朋道** 教授

【専門】  
動物行動学、進化心理学

環境問題の改善のためには、様々な学問分野の研究、実践が必要です。4年間の学修で、環境問題に、理論的、実践的にぶつかるところを通して、自分の問題解決能力全体を高めて社会の様々な分野で活躍してもらうことを期待します。

**人間形成教育センター副センター長**  
あらた てつじ  
**荒田 鉄二** 教授

【専門】  
環境哲学、文明論  
持続性論

持続性問題という文明の危機を克服するには、危機の状況を正しく診断すること、その根本原因を明らかにすること、そして危機の状況と根本原因を踏まえうでで解決策を探ることが必要です。共に学び、説得力のある解決策を提案していきましょう。

かどの あつお  
**角野 貴信** 准教授

【専門】  
土壌学、生態系生態学  
生物地球化学

土壌がその母材である岩石などから生成するスピードに比べ、人が利用して劣化させてしまう速度があまりにも速く、そのアンバランスが問題になっています。いかにすればそのバランスを回復し、維持し続けられるのか、一緒に考えてみましょう。

きかわ たつゆき  
**佐川 龍之** 准教授

【専門】  
リモートセンシング、  
人工知能、画像処理

今は多くの情報が溢れていますが、その中から重要な情報だけを選び出すのは簡単ではありません。大学で様々な教養や情報を分析するための基礎知識を学び、自分が本当に必要とする情報を集める力を身につけましょう。

とくだ ゆうき  
**徳田 悠希** 准教授

【専門】  
古生物学、深海生物学

現在の地球環境の成り立ちを理解し、未来の環境を予測するためには、過去を知る必要があります。私は化石や地層を調べることで、大地に刻まれた地球の歴史を読み解いています。一緒に地球環境の過去と未来を考えてみませんか？

**地域イノベーション研究センター長・人間形成教育センター副センター長**  
よしなが いくお  
**吉永 郁生** 教授

【専門】  
海洋微生物学  
微生物生態学

海の生態系は地球環境に大きな影響を及ぼしています。そして海の生態系は、植物プランクトンなどの微生物が主役です。陸地に住む我々にはなじみが薄い海からの視点、そして微生物の視点から、これからの地球環境を考えてみませんか？

**副学長補佐**  
ちよん はんしやん  
**張 漢賢** 教授

【専門】  
都市計画学、人間居住論

産業革命時代、先進国、途上国の都市居住問題・住環境整備について学び、徒歩で生活できるコンパクトシティの原型、職住一体を可能にする空間を持つショップハウス街区などを通して、長く使い続けられる都市生活空間の形成、仕組み、継承を研究します。

なかじ ひろゆき  
**中治 弘行** 教授

【専門】  
建築構造、耐震構造、  
木質構造

日本には、古くから身近な材料として木材など自然にある素材を活用して、居住環境や生活に必要なものを紡ぎだしたという歴史があります。建物を構成する材料の木と土、それに必要な大工・左官技術、建造物の耐震安全性に関する研究を行っています。

こうだしの  
**甲田 紫乃** 准教授

【専門】  
エネルギー科学  
グループ・ダイナミックス  
環境社会心理学

当事者と研究者との協同的実践による活動を通して現状を改善する研究を、様々な分野(環境活動、環境教育、環境芸術など)で、学際的に行っています。地球や地域に貢献したい人、環境問題に取り組みたい人をお待ちしています。

しげた よしのり  
**重田 祥範** 准教授

【専門】  
局地気象学、生気象学  
環境工学、地学教育

私たちは様々な大気環境の中で生活しています。周囲を取り巻いている大気の温度(気温)は測定することが困難なものの一つです。気温を測ってみたい人、そして大気の流れ(風)を見てみたい人、私と一緒に多彩な気象観測を楽しんでみませんか？

やまぐち そう  
**山口 創** 准教授

【専門】  
農村計画学、農業経営学

私の専門は農村計画学で、農村が抱える課題の解決や持続的発展の方策について社会科学的視点から研究しています。現在の農村には、解決すべき課題が山ほどあります。一緒に20年後、30年後の農村をデザインしましょう。

まむ さんよる  
**金 相烈** 教授

【専門】  
廃棄物工学

近年は資源やごみの埋立地の枯渇問題、環境汚染の問題などが深刻となり、大量生産、大量消費、大量廃棄型社会から循環型社会への転換が緊急の課題となっていますが、これらの問題をじっくり考え、解決策をともに考えてみませんか？

かきざ てつや  
**笠木 哲也** 准教授

【専門】  
植物生態学、送粉生態学

陸上植物の7割は送粉(花粉媒介)を昆虫に依存しています。そこで、送粉昆虫の種類や行動に着目しながら、植物の生態的特性と交配システム進化について研究を進めています。まずは野外に出て、植物や昆虫の種名を覚えることから始めましょう。

もんぎ ひでゆき  
**門木 秀幸** 准教授

【専門】  
環境分析  
廃棄物・  
リサイクル工学

廃棄物のリサイクルを研究しています。廃棄物には環境へのリスクだけでなく、様々な資源が眠っています。リサイクルの研究は宝探しのようです。探し出して利用する、そのための技術や方法と一緒に考えていきましょう。

かとう さだひさ  
**加藤 禎久** 准教授

【専門】  
緑地計画学  
エコロジカル・プランニング  
グリーンインフラ

洪水や土砂崩れなどの被害を抑え、レジリエントな社会を構築するには、従来の土木インフラを補完する形で自然の恵みを活かしたグリーンインフラの活用が求められています。一緒に気候変動に適応した緑地・ランドスケープ計画を考えてみませんか？

おおた たろう  
**太田 太郎** 准教授

【専門】  
水産資源生物学、漁業制度  
地域連携

豊かな鳥取の自然の中で沢山の経験を積みながら、楽しく学んでいきましょう。私は海や川をフィールドとした研究をしていますが、解らないことが山積み。新発見の喜びを分かち合いたい。

やまもと あつし  
**山本 敦史** 准教授

【専門】  
環境化学、分析化学

皆さん「健全な物質循環」という言葉を耳にしたことがありますか？環境分野において近年重視されているキーワードです。一緒に環境や暮らしの中で起こっている様々な物質の動きを調べてみませんか。普段の景色が違って見えてくるでしょう。

教職課程

まえた てつお  
**前田 哲雄** 教授

【専門】  
道徳教育、学校経営

教職は子どもと(とも)に学び俱に進むやりがいのあるものです。本学においても、中学・高校(理科)の教員免許が取得できます。環境の世紀と言われる今、本学で学びそれを学校教育で活かしてみませんか。

ちよにし おゆうじ  
**千代西尾 祐司** 教授

【専門】  
学習指導  
ICT活用による教材開発

「学び」というものの考え方が変わってきています。「教え・教えられる」という姿から「学ばせ・学ぶ」という、学ぶ人が主体となる学びを作るために多様な知見を学びます。ICT端末も学びの道具として使い、より良い学びを作るために、いろいろな方法を一緒に考えましょう。

ふじた えつこ  
**藤田 恵津子** 准教授

【専門】  
臨床心理学、発達心理学

カウンセリングにおいて、語りのプロセスがこころの回復に寄与することを研究しています。また、「こころ」の健康に関する心理教育は、カウンセリングと同様に大切なことであり、現在、学校園や社会人向けの研修などで取り組んでいます。

かわぐち ゆみこ  
**川口 有美子** 准教授

【専門】  
学校経営学、教育行政学

教育原理や教育の制度と経営、教育行政学などの科目を開講しています。授業では、教育という社会的な営みについてマクロからミクロな視点まで、様々な角度から迫り、「教育学」の探究を試みます。



# 経営学部

Faculty of Business Administration

「経営学科」



## 経営学部長メッセージ

吉田 高文 教授

専門 経営財務論、企業経済論

## 学修の幅を広げて 専門性を備えたジェネラリストへ

経営学部では、環境学部との相互履修を通じて環境学の基礎を学修しながら、経営学の専門分野を学ぶことができます。1年次では「SDGs基礎」のような総合教育科目を、2・3年次では「環境経済学」や「環境経営論」などの専門科目を設けています。また、学修の幅を広げる制度として副専攻もスタートしました。環境学だけでなく、英語実践、AI・数理・データサイエンスなど、それぞれの関心に合わせて選択し、キャリアデザインに活かすことができます。そのうえで皆さんには専門性を備えたジェネラリストをめざしてほしいと思います。先行き不透明な時代を生きるためには、得意分野を持ちながら物事を俯瞰的にとらえる力も必要です。さらに、保険、年金など生活力にかかわる知識や視点も大事にしましょう。経営学部にはそうした学びも充実しています。

模擬授業  
公開中!

公式  
YouTube  
チャンネル

大学の授業の様子、経営学部の学修内容を模擬授業動画として公開しています。ぜひ視聴ください。



特別  
サイト



## 学びの特徴

- 

**1 経営と環境  
2つの視点**

環境について配慮した経済活動が企業にも求められています。経営学部には在籍しながら「環境」の視点からも学べることは、将来活躍するうえで大きな力となるはずで。
- 

**2 世界へ発信する  
英語力**

モノを売る時、大きな市場の方がより収益を上げられます。世界に視野を広げ、何が出来るか、何を行うべきかを考えるよう、英語スキルの向上にも取り組んでいます。
- 

**3 現場を知る産学  
協働による活動**

経営の知識は将来幅広い分野で活かすことができるため、興味を広げる機会を多く設けます。企業経営者による講演会をはじめ、企業と連携して課題解決に取り組むなど、現場に触れ、積極的に関わる中で大きく成長することができます。
- 

**4 情報を活用する  
コンピュータスキル**

企業が生き残っていくためには情報戦略は欠かせない要素です。そのため、プログラミングやシステム構築などのコンピュータスキルについても実践的に学修します。
- 

**5 国内外での実践的な  
フィールドワーク**

鳥取県内を中心に学生が企業経営者や地域の方と積極的に関わり、課題解決に取り組みます。また、学びのフィールドは国外にも広がり、世界的な企業、環境に配慮した事業に取り組む企業へ訪問し、取組みを体験します。



## 多様なビジネス社会で活躍するための 原動力、マネジメント能力を養います

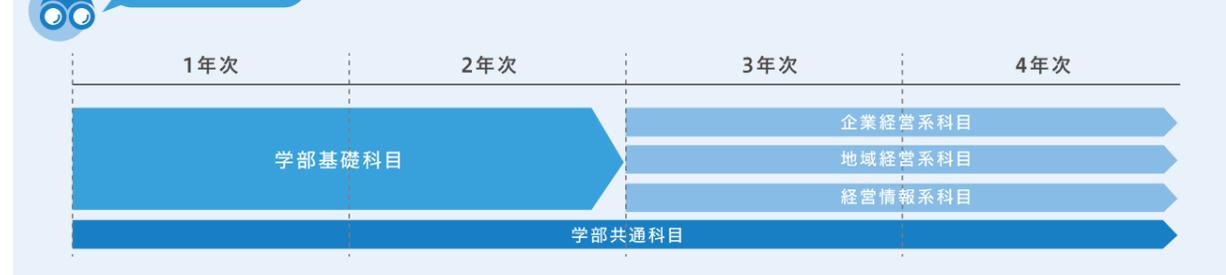
人材育成・組織をはじめ、自分自身の行動にも関わるマネジメント能力。経営学部では、多様なビジネス社会で活躍するために必要なマネジメント基礎力を養うとともに、企業・地域・国際・情報の視点から経営学を修得します。少子高齢化の問題など、10年後の日本の課題が顕著化している鳥取県を学びの舞台として、地域課題の解決に挑戦しながら、これからの日本や世界のビジネス社会で求められる提案力や実行力を養成します。さらに、将来的に地域の企業や団体等の経営や運営をリードできる人材の輩出を目指し、会計、ファイナンス、地域経営の科目を用意しています。



### 学びのポイント

Point 1	Point 2	Point 3	Point 4
経営全般を理解しマネジメント基礎力を身に付けます。	会計や金融・ファイナンスに関する専門性と実務能力を養います。	鳥取を舞台に日本の課題を知り解決に取り組みます。	企業戦略への情報技術の活かし方を実践的に学びます。

### 専門科目



### 学修分野

学修分野	学びの内容	進路イメージ	取得目標資格
企業経営	経営学に関する専門性と経済に関する幅広い視野を備えたグローバル時代に対応した能力の修得を目指します。	民間企業等（製造業、サービス業、流通業等）で企画、管理、営業等の中核業務を担います。	●中小企業診断士 ●ファイナンシャルプランナー ●宅地建物取引士 ●簿記検定 など
会計 ファイナンス	経営学の中核的な素養と会計や金融・ファイナンスに関する専門性を備え、実務に活用できる能力の修得を目指します。	金融機関や民間企業の財務部門で会計や金融に関する専門性を活用した業務。専門性を磨き、税理士や会計士等の専門職を目指します。	●公認会計士 ●税理士 ●ファイナンシャルプランナー ●簿記検定 など
地域経営	経営学の専門性を地域の経済・社会の振興に活用できる能力の修得を目指します。	地域経済の中心となる民間企業の中核を担う業務・地方行政や地域の経済団体等の地域振興政策に関わる業務を担います。	●中小企業診断士 ●ファイナンシャルプランナー ●宅地建物取引士 ●簿記検定 ●旅行業務取扱管理者 など
経営情報	経営学に関する専門性と情報技術への理解やデータの分析力を兼ね備え、ビジネスに情報通信技術を活用できる能力の修得を目指します。	民間企業や行政機関で情報管理部門の業務や、情報を活用し分析や意思決定に関わる業務を担います。	●基本情報技術者 ●ITパスポート など

### 人間形成科目

科目名	1年次	2年次	3年次
人間形成科目	<b>【総合教育科目】</b> ●現代と人権 ●日本国憲法 ◎鳥取学 ●現代社会と健康 ●スポーツ実技 ◎文章作成1・2 ●数理基礎 ●特別講義A ●特別演習A～C ●文学 ●地理学入門 ●SDGs基礎 ◎環境学概論 ●環境と文明 ●自然環境保全概論 ●循環型社会形成概論 ●人間環境概論 <b>【外国語科目】</b> ◎Intensive English1～4 ●英語活動A・B ●海外英語研修A～C ●海外語学実習A・B ●基礎英語能力養成A・B ●応用英語能力養成A・B <b>【情報処理科目】</b> ◎情報リテラシ1・2 <b>【キャリアデザイン科目】</b> ◎キャリアデザインA ●基礎インターンシップ <b>【総合演習科目】</b> ◎プロジェクト研究1・2	<b>【総合教育科目】</b> ●特別講義B ●離散数学 ●データ構造とアルゴリズム ●計算機の基礎 ●AMD実践演習A・B ●人間居住論 ●環境と倫理 <b>【外国語科目】</b> ◎Intensive English5～8 ●中国語1・2 ●韓国語1・2 ●ロシア語1・2 ●Advanced English1～8 <b>【キャリアデザイン科目】</b> ◎キャリアデザインB <b>【総合演習科目】</b> ◎プロジェクト研究3・4	<b>【総合教育科目】</b> ●麒麟の知 ●AI ●画像処理 ●AI実践演習 ●パターン認識 <b>【外国語科目】</b> ●英語特別講義A～D

◎…必修 ●…選択・自由

### 専門科目

科目名	1年次	2年次	3年次	4年次
学部基礎科目	◎経営学入門 ◎会計学入門 ◎現代経済学入門 ◎統計学入門 ◎経営戦略論1 ◎商業簿記1 ◎ミクロ経済学 ◎情報システム基礎 ◎プログラミング	●経営組織論1 ●マーケティング1 ●商業簿記2 ●財務会計 ●管理会計 ●ファイナンス入門 ●マクロ経済学 ●金融論 ●インターネット ●地域経営論 ●経営情報論		
企業経営系科目		●経営戦略論2 ●経営組織論2 ●マーケティング2 ●経営分析 ●日本経済論	●人的資源管理論 ●商品開発論 ●ブランド論 ●事業創造論 ●原価計算論 ●税務会計 ●監査論	●コーポレート・ファイナンス ●リスクマネジメント ●経営倫理 ●ビジネス・エコノミクス ●金融市場論 ●証券論
地域経営系科目		●地域経済論 ●公共経営論 ●流通論	●地域政策論 ●地域産業論 ●公共政策論 ●中小企業経営論 ●地域マーケティング ●非営利組織論 ●コミュニティビジネス論	●観光経営論 ●地域振興論 ●農業経営論
経営情報系科目		●データサイエンス ●データサイエンス実践演習	●経営情報システム ●システム監査 ●データベース ●情報産業論 ●プロジェクトマネジメント ●経営工学 ●生産管理	
学部共通科目	●微分積分学 ●線形代数	●経済史 ●西洋経営史 ●国際経済論 ●国際関係入門 ●環境経済論 ●社会調査法	●民法1・2 ●Case Analysis ●経営学特別講義A	●日本経営史 ●国際経営論 ●アジア経済論1・2 ●アジア環境論 ●共生経営論
演習科目			●ワークショップ ●インターンシップ	◎専門演習3

※上記科目は2023年4月現在のものです。変更になる場合があります。

# 企業経営分野

経営学に関する専門性と経済に関する幅広い視野を備えたグローバル時代に対応する能力の修得を目指します。主に一般企業や団体の企画・管理・営業などに必要な基礎力を養成します。

- 1 社会で活躍するために経営管理、戦略や組織の基礎を学びます。
- 2 様々な経済活動の仕組みや法律などを学びます。
- 3 起業、事業継承に必要な知識を身に付けます。

**Myゼミレポート**

光山ゼミ

**田口 雄大**さん(岐阜県出身)

本を通して多様な意見に触れ、企業訪問によって現場を理解

企業の経営戦略について研究しています。一つの意見だけでなく、多くの本を通して多様な意見に触れることで自分の考えを整理しています。またゼミでは企業訪問も行って、実際に働いている方に質問したり、製造現場を見せていただいたりしています。企業訪問は、一口に経営戦略と言ってもいろいろなやり方・考え方があることを知る貴重な機会です。ゼミの雰囲気はよく、みんなからは活発な意見が飛び出し、有意義な議論ができています。先生も適切な助言をしてくださるので、大変頼りになります。私は最初のうちは自分の考えに自信が持てませんでしたが、学びが深まるにつれて自信を持って発言できるようになりました。そんなところに成長を感じています。将来はチャンスがあれば起業も視野に入れています。

特別サイト 



▲企業に実際に訪問することで、気がつくことも多い

**Pickup研究室**

マーケティングの力で社会を変える  
ソーシャルマーケティング

社会の課題をマーケティングの力によって解決していくのがソーシャル・マーケティングです。ソーシャル・マーケティングにおいても、事業性は大切です。そのためには、顧客のニーズを事前の調査で見つけ出すことを忘れるわけにはいきません。社会の課題において、構造上のどこがターゲットになっているのかを見極める必要があるからです。ゼミではまさに、このソーシャル・マーケティングの実践に取り組んでいます。地元の農家さんの農産物・商品を持っていく活動がメインですが、大事なことは事業性を忘れないで、ニーズを見つけ出すことです。その両方を忘れずに取り組めば、必ず見えてくるものがあると思います。

特別サイト 

竹内 由佳  
准教授  
マーケティング  
消費者行動  
流通




▲鳥取県内の課題解決にゼミ活動を通して取り組む

**Pickup研究室**

自分にしかない「固有の強み」を  
身につけてグローバルに活躍してほしい

不確実性高まる社会情勢の下、企業が持続的に競争力を発揮していくためには、市場に埋もれている潜在的なニーズを掘り起しスピーディーにイノベーション戦略を実行していくことが重要になると言えるでしょう。私の研究室では、学生時代からイノベーション思考力を鍛えることを目指し、国内外を問わず「本物」に直に触れる機会を学生に多く提供することで特別な「何か」を発見し、そこから論理的に「考え抜く」力を育てます。

特別サイト 

光山 博敏  
教授  
技術経営  
技術戦略  
イノベーション  
戦略




▲視察・研究の様子「ダイキン」様にて

# 会計・ファイナンス分野

経営学の中核的な素養と会計や金融・ファイナンスに関する専門性を備え、実務に活用できる能力の修得を目指します。一般企業や団体のほか金融機関等での業務、税理士・公認会計士といった専門家をを目指すための基礎力を養成します。

- 1 財務会計の学びは資格につながっています。
- 2 金融機関などへの就職に役立つ資格取得を目指します。
- 3 税理士や公認会計士など専門家への道も開けます。

**Myゼミレポート**

吉田ゼミ

**恒石 鮎香**さん(高知県出身)

企業の経営戦略を分析する  
ケースメソッドで実践力を

老舗旅館から全国チェーンの外食産業まで、具体的な企業の実例を用いて経営戦略を分析するケースメソッドを中心に学んでいます。どういった商品開発や経営努力がされているかを知ることで「お金を賢く使うにはどうすればいいか」を考えるようになり、消費行動にも変化が出てきました。卒論は地域金融について取り上げる予定です。先生はファイナンスの専門家の立場から、一人ひとりに合った研究方法を教授して下さいます。私は現在、簿記2級とファイナンシャルプランナー3級の資格を持っているのですが、その知識を活かせるのが地域金融ではないかと考えました。大学4年間では学びや資格取得に力を入れることはもちろん、今しかできないさまざまな経験によって自分の幅を広げておきたいです。

特別サイト 



▲学生と真摯に向き合い指導して下さいます

**Pickup研究室**

会社とは何か、人々の幸せに  
どう関わっているのかを考える

私の専門分野は金融(英語ではファイナンス)です。経営を学ぶ際の4つの要素である「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」のうち、カネの部分を担当領域です。といっても、ただお金の計算をするだけでなく、「そもそも会社とはどのようなものなのだろう」を考えていきます。会社がどのような仕組みで成り立ってきたか、それが私たちにとって何の役に立つのか、そして人々の繁栄、もっといえば幸せにどう関わっているのかを追及します。

特別サイト 

吉田 高文  
教授  
経営財務論  
企業経済論




▲マネジメントゲームを通して会社経営の基礎を学びます

**Pickup研究室**

専門領域だけの研究にとどまらない幅広い学び

「管理会計」は企業内部の戦略の意思決定や業務コントロールに必要な会計情報を提供します。またそれは、原価計算によって算出された情報を活用して、企業活動をプランニングするマネジメントツールでもあります。さらに、私の研究室では、歴史的な観点から会計事象の分析を行うだけでなく、その背景にある文化や社会環境、政治、経済の状況についても検討することで、事象の理解も深めることができます。このように専門領域だけの研究にとどまらない学問の面白さに、皆さんも触れてみませんか。

特別サイト 

川崎 紘宗  
准教授  
管理会計  
予算管理  
会計史




▲ゼミでは会計についての専門書を輪読します

# 地域経営分野

経営学の専門性を地域の経済・社会の振興に活用できる能力の修得を目指します。地域経済の中核となる一般企業や地域行政・地域団体での業務に必要な基礎力を養成します。

- 1 地域の問題を発見し分析する能力を身に付けます。
- 2 観光や産業など地域資源を活用した振興策を研究します。
- 3 現場に飛び出し地域の課題や振興策づくりを体験できます。

**Myゼミレポート**

山口ゼミ

**吉澤 美月**さん(鳥取県出身)

**ゼミ仲間から刺激を受けながら農業経営について研究**

私はゼミで農業経営について研究しています。過疎地域における農業の衰退や人手不足などの問題に対してどのような打開策が見出せるかを、自分で調べて摸索しています。ほかのゼミ生もそれぞれ、観光業や地域の食文化、伝統工芸など、自分が興味のあるテーマを研究しています。だからこそ多様な視点から意見をもらうことができ、とても刺激を受けています。先生は学生同士が活発にコミュニケーションをとれるような雰囲気づくりをして、学生の発言に対して適切なアドバイスをしてくださいます。それによって「そうか、ここはもっと掘り下げるべきだな」といった発見もあります。私は鳥取出身で、地元を盛り上げたいという強い思いを持っています。将来は人と人をつなげる仕事ができればと考えています。

特別サイト 



▲お互いの意見を交えることで、課題を発見する力がつきました

**Pickup研究室**

**地域社会の本当の姿を知ることが大切**

山間部の集落では人が減り、住民の共同によって維持してきた仕組み(自治会や農作業など)がなくなっています。こうした集落の将来は不透明です。私たち大学はこうした地域を元気にする役割が求められていますが、簡単ではありません。確実にお手伝いできることの一つは住民の意識も含めた現状把握です。実はとても奥が深く難しい作業です。座学とフィールドワークの双方を通じて、実践的な力を身につけることを目指しています。

特別サイト 

倉持 裕彌 准教授  
地域社会学  
まちづくり論



▲阿蘇地域の視察

**Pickup研究室**

**農業の生産者、協力者、消費者が一体となった地域活性化を**

農業の生産者にとって消費者はもちろん重要ですが、農産物を販売してくれる卸売やJAなど農業関連産業、いわば協力者の存在も欠かせません。それらが一体となって地域を盛り上げるためにはどうすればいいのか研究しています。また近年は6次産業化が目立っていますが、加工品を作ることだけでは販売することは大変で、そこが企業やJAとマッチングできたり、逆に「都会ではこんな商品が売れているから作ってませんか」といった連携が図れたりできればと考えています。学生には生産者や消費者などさまざまな視点に立っただけで物事を総合的にとらえてほしいと思っています。

特別サイト 

山口 和宏 講師  
地域振興論  
農業経済学



▲総合的にとらえる力を身につける

# 経営情報分野

経営学に関する専門性と情報技術への理解やデータの分析力を兼ね備え、ビジネスに情報通信技術を活用できる能力の修得を目指します。一般企業や団体における情報処理系業務に関連した基礎力を養成します。

- 1 情報技術への理解とデータ分析力を養います。
- 2 情報システムを経営に役立てる方法を学びます。
- 3 企業の立場から情報システムを実際に構築します。

**Myゼミレポート**

染谷ゼミ

**前田 直希**さん(鳥取県出身)

**システム思考を学ぶことで全体を見通す力が身についた**

3年前期では、システム思考について学びました。システム思考とは簡単にいえば、何かの問題に取り組むとき、一つの組織が考えるのではなく、かかわる人たちみんなで解決しよう、というものです。システム思考を学ぶことで、全体を見通す力が身につきました。卒論のテーマは「eスポーツ」について取り上げ、それをシステム思考と関連させながら研究できないかと考えています。染谷ゼミの特徴は、情報系の学びだけでなく、幅広い分野が扱える自由度の高さにあると思います。ゼミでは学生同士が活発に意見交換するよう心がけており、そこから多くの気づきも得られます。また、情報系のゼミなので、ITに関する専門的な知識もしっかりと身につけられます。将来的には基本情報技術などの資格取得も視野に入れています。

特別サイト 



▲情報はこれからの社会で欠かせない分野だと思います

**Pickup研究室**

**ITは経営になくてはならない道具(ツール)**

IT・データ活用による社会や企業のDXが急速に進んでいます。この流れに対応するため、企業は事業構造を変革し、業務を改革する必要性に迫られています。その手段としてITやデータを活用した情報システムがあります。この事業構造・業務・情報システムを一体としてとらえ、改革する方法論を研究しています。ゼミでは、とにかく「手を動かす」ことを大事にしています。学生は自分が興味のある企業の一つを選び、学んだ方法論でその企業を徹底的に分析します。いまやビジネスの場ではITやデータに関する知識や能力は必須になりつつあります。私はIT・データ活用で社会に貢献できる優れた人材を育てたいと考えています。

※DX→Digital Transformationの略。ITやデータを活用して、経営や事業を変革し、生産性の向上や新しいビジネス開拓を行うことを指す。

特別サイト 

齊藤 哲 教授  
経営工学  
プロジェクト管理



▲学生が実施した企業分析のアウトプット

**Pickup研究室**

**生活を豊かにする情報活用を考える**

買い物、音楽、コミュニケーション、金融取引など、私たちの生活のほとんどの機能がスマートフォンひとつで実現できるようになりました。私たちは、生活の中でコンピュータをどのように使えばより効率的で楽しい社会になるかについて研究しています。例えば、美術館では、作品の紹介・説明はどんな来場者に対して同じです。これを、子どもには簡潔に分かりやすく説明したり、美術館に何度も足を運ばれているお客さまには一歩踏み込んだ説明を加えたり、ユーザーの経験値によって提供する情報を変えることで、より豊かな体験価値を提供できます。こうした情報活用方法を「システム思考」アプローチでデザインしています。

特別サイト 

染谷 治志 教授  
情報システム学  
システム工学



▲学生たちの関心に合わせてアドバイスします



経営学部長  
よしだ たかふみ  
**吉田 高文** 教授  
【専門】  
経営財務論、企業経済論

経営を学ぶことによって、様々なしくみが見えてきます。会社のしくみ、生産のしくみ、販売のしくみ。また、わたしたちの生活と企業との関わり、環境問題と企業との関わりなどの相互関係も重要です。一緒に経営学を勉強しましょう。



副学部長  
たけうち ゆか  
**竹内 由佳** 准教授  
【専門】  
マーケティング、消費者行動  
流通

私たちは消費者は、我儘で騙されやすく、熱中しやすく、そしていろいろな出来事に影響される存在です。企業にも、何が消費者にとって「流行る」「ウケる」商品なのか分かりません。じゃあ、消費者って一体なんだろう？ ぜひ、一緒に考えてみましょう。



副学長・アドミッションセンター長  
やの じゅんじ  
**矢野 順治** 特任教授  
【専門】  
金融論

皆さんはこれから経営の勉強をしてみようかと考えられていると思います。現実の経営の世界で、金融の問題は地味ですが大変重要なものです。知らない人はいないと思われるFANG (Facebook, Amazon, Netflix, Google)等の現代を代表する企業の多くは企業金融の部分でも革新を起きているのです。このようなエキサイティングな金融の世界を学んでみませんか。



しまだ よしみち  
**島田 善道** 准教授  
【専門】  
経営組織、国際経営

世界で活躍するグローバルリーダーの研究をしています。大学では、今まで知らなかったことをたくさん学び、今までやったことのない遊びもたくさん楽しんでください。そして、貴方こそが本学発のグローバルリーダーになってください！



りえん いーびん  
**連 宜萍** 准教授  
【専門】  
国際経済、経済発展論  
多国籍企業

アジアの経済発展はどんな特徴を持っているか、日本はアジアの経済発展にどんな役割を果たしているか、産業発展を担う個々の企業はどんな戦略を取り、多国籍企業間のネットワークはどう形成されたか。アジアの経済・産業・企業について勉強します。



地域イノベーション研究センター  
副センター長  
くらもち ひろし  
**倉持 裕彌** 准教授  
【専門】  
地域社会学、まちづくり論

地域は再生しなければならないもの、と思いませんか？その前に私たちはどうして地域再生が目指されるのか、そもそも地域再生とは何か、を考える必要があります。そのためには経済、社会、文化など多様な視点から検討することが大切です。



やなぎ としや  
**柳 年哉** 特任教授  
【専門】  
会計学、財務会計  
監査論(内部統制監査)

企業活動の成果は財務数値により表現されます。財務数値を作成する人・利用する人たちにとっては、会計知識は必修です。また、会計知識は、経済を深く理解することにも役立ちます。本学で会計の基礎から勉強しましょう。



AI・数理・データサイエンス教育  
研究センター長  
さいとう てつ  
**齊藤 哲** 教授  
【専門】  
経営工学、プロジェクト管理

経営工学やプロジェクトマネジメントは、社会に出てすぐに役立つ、実践的な学問領域です。講義・演習では、単に理論や方法論を学ぶだけではなく、実際に「手を動かす」演習を通して、実務に活かせる力を身につけます。皆さん、一緒に学びましょう。



特命学長補佐  
なかやま しつろう  
**中山 実郎** 教授  
【専門】  
民法、企業法、消費者法、他

大学は学びや研究の場であると同時にたくさんの友と出会う場でもあります。勉強や課外活動そして学友との語らいにと充実した学生生活を過ごしてください。私も皆さんの応援団として精一杯サポートします。



かわさき ひろのり  
**川崎 紘宗** 准教授  
【専門】  
管理会計、予算管理  
会計史

会計は企業のみならず「お金」が関係する様々な所で用いられています。この会計に携わる人には、信頼できる適正な会計情報を提供するという社会的な責任があります。このような責任を果たすために必要な専門知識を修得しましょう。



たかい けんじ  
**高井 亨** 准教授  
【専門】  
環境経済学、社会学

学部時代は都市計画や環境科学を学んでいましたが、そのうち社会学とくに経済学を学ぶ必要性に気づき経済学を専攻するにいたしました。現在は、社会問題を工学的に分析しつつ、経済学の視点から持続可能性や環境の価値について研究しています。



さとう あやこ  
**佐藤 彩子** 准教授  
【専門】  
地域経済学、経済地理学

グローバル化や少子高齢化、AI社会の到来等、社会はめまぐるしく変化しています。日頃から社会で生じている様々な現象に目を凝らして、「なぜだろう？」「どうしてだろう？」と疑問を持ちながら、積極的に自ら学ぶ姿勢を大切にしてください。



人間形成教育センター長  
いまい まさかず  
**今井 正和** 教授  
【専門】  
情報の収集と蓄積、可視化

皆さんの夢は何ですか？ 大学は自分の夢を実現するための通過点だと思います。人生の夢を見つけるために必要な知識を身に付け、それを基にして新しい、一生の夢を大学生のうちに見つけてください。



そめや はるし  
**染谷 治志** 教授  
【専門】  
情報システム学  
システム工学

観察を通じた仮説構築と検証を重視した「システム思考アプローチ」で、私たちの身の周りにある「はてな？」を分析・理解し、社会生活をより安心・安全・豊かにする「いいね！」をデザインしています。



情報メディアセンター長  
さいとう あきのり  
**齊藤 明紀** 教授  
【専門】  
情報工学  
情報倫理  
インターネット運用技術

コンピュータシステムの運用管理に関する研究をしています。講義はインターネット、コンピュータの基礎、情報倫理を担当しています。今やIT活用は現代の経営の重要課題です。情報システムの活用能力や目利き能力をぜひ身に付けてください。



たにぐち けんじ  
**谷口 謙次** 講師  
【専門】  
経営史、経済史

歴史には常にストーリーがあります。徳川家康のような個人が活躍することもあります。社会の変化や経済の発展にもストーリーがあります。社会が変わる道筋や経済発展の姿などを追っていくと、「暗記」を超えた歴史の面白さに出会えるでしょう。



やまぐち かずひろ  
**山口 和宏** 講師  
【専門】  
地域振興論、  
農業経済学

普段、見慣れているものや、当たり前すぎて深く考えていなかったものの奥には、実は知らなかった「新しい何か」が隠れているかもしれません。その「新しい何か」に触れる楽しみをぜひ実感してください。



いのえ まこと  
**磯野 誠** 教授  
【専門】  
マーケティング、新製品開発  
ブランド、デザイン

顧客がはっとする、夢中になるような製品やブランドはどのように生み出すことができるのか。マーケティングとは顧客創造ですが、具体的にはこのような問題を扱う分野です。マーケティング課題の取り組みを通して、その難しさと楽しさを共有しましょう。



副学長補佐・就職支援センター長  
いしかわ ますみ  
**石川 真澄** 教授  
【専門】  
公共政策、経済政策  
環境経済

企業活動を取り巻く経済全体の動きを読むために必要な「マクロ経済学」や現在のわが国の経済の姿と直面する課題について考える「日本経済論」などの講義を担当しています。経済と併せて学ぶことで経営学の理解も深まることでしょう。



あいかわ やすし  
**相川 泰** 教授  
【専門】  
東アジア国際関係  
民間非営利環境協力

「今ここ」を理解するのに必要な手がかりの全てが「今ここ」にあるとは限りません。全く異なる場所の、全く異なる時代に、その手がかりがあるかも知れません。日々の新たな出来事や予測も含めて、広く長い視野を持つためのお手伝いをしたいです。



国際交流センター長  
にしむら のりこ  
**西村 教子** 教授  
【専門】  
人口経済学、開発経済学

日本人口の減少に伴い、社会や経済はどんどん変化していくことでしょう。皆さんはこれからどのように働き、家族を作り、生活をしていくのでしょうか。このような人々の行動を意思決定の学問である経済学を使って説明しようとして研究を進めています。



みつやま ひろし  
**光山 博敏** 教授  
【専門】  
技術経営、技術戦略  
イノベーション戦略

ボーダーフリー(国境のない)時代を迎え、ゼロから新しい何かを創造できる人への価値が高まっています。高校時代から自分の頭で考え、何事にも能動的に取り組む姿勢を身につけてください。



あらい せい か  
**叡 成華** 教授  
【専門】  
経営学  
(人的資源管理論、  
国際経営論)

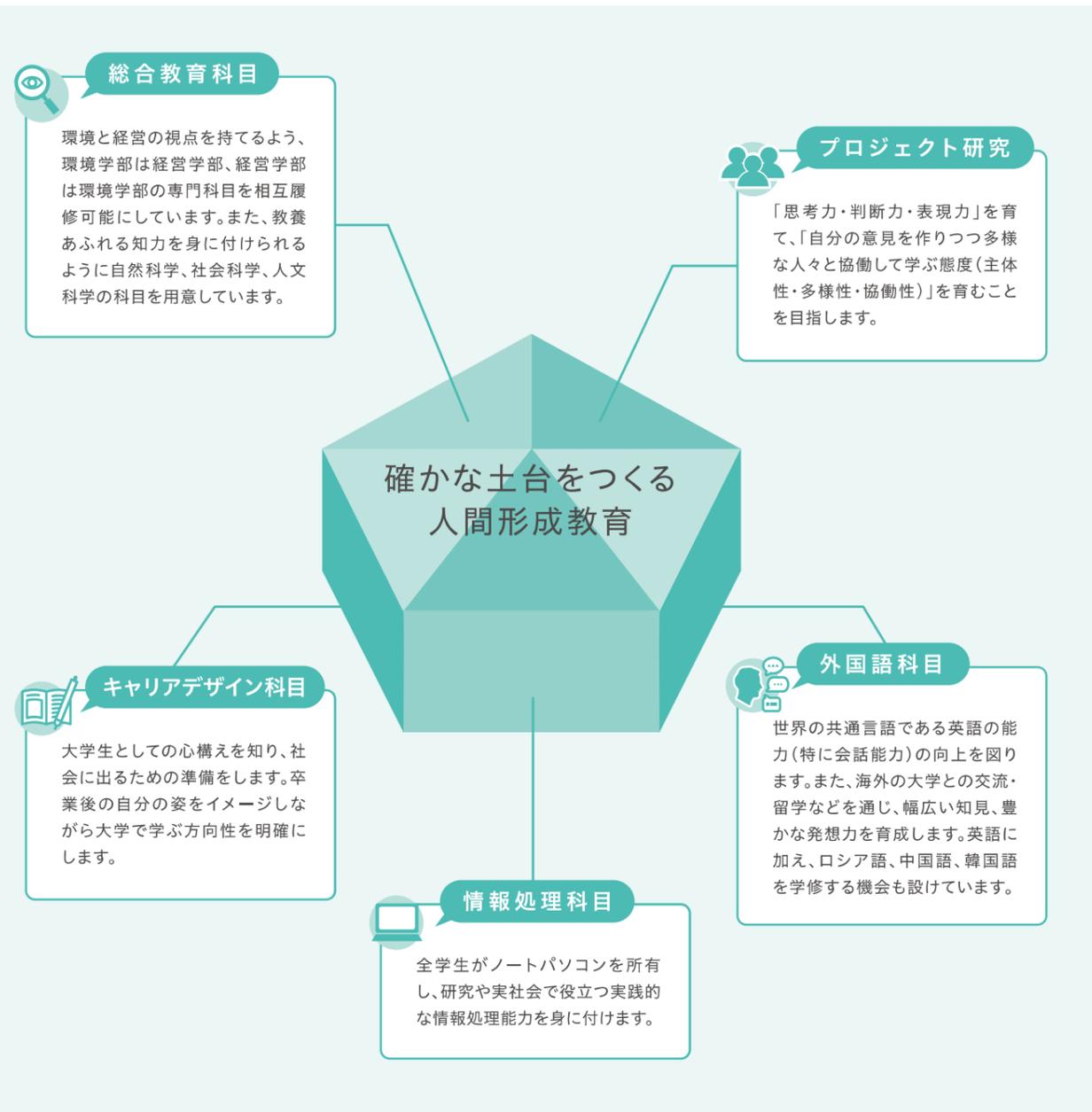
大学生活において学ぶことの楽しさを存分に実感してください。4年間が充実した大学生活にするために、自分の好きなことに精一杯チャレンジし、最後までやりきることが大切です。大学での学びを通じて社会人基礎力を身に付け、地域や国際を舞台に活躍できる人材になることを期待しています。



# 人間形成教育

国際性から地域性、自然科学から社会科学、人文科学まで「知力」「人間力」「対応力」の土台をつくる幅広い学び

人間形成教育は、環境視点と経営視点を備えた「知力」と、英語でのコミュニケーションや地域の人々とのふれあいを通じた実践的な「人間力」養成のための学びです。人間形成科目は、「総合教育科目」「キャリアデザイン科目」「情報処理科目」「外国語科目」の4つの科目群と、「プロジェクト研究」という学内外をフィールドに行われる総合演習科目で構成されています。これらの科目により企業や地域のリーダーとして活躍するための土台を築きます。



# 人間形成教育4つの科目群とプロジェクト研究

**総合教育科目**

確かな知力の土台となる基礎学力に加え、環境と経営2つの視点を修得  
自然科学、社会科学、人文科学を学び、教養をより豊かにします。さらに、「相互履修」制度により、環境と経営の学部の垣根を越えて学修することができます。

〈授業科目〉  
鳥取学、文章作成1・2、数理基礎、地理学入門、SDGs基礎、環境学概論など

〈相互履修科目〉  
自然環境保全概論、循環型社会形成概論、経営学入門、現代経済学入門など

**キャリアデザイン科目**

与えられた4年間をどう過ごすかで将来に差がつく  
イメージを形にするのは難しいもの。大学生活や研究、就職活動も同様です。それらをよりよい形でどう具現化するか、考え方と行動の仕方を学びます。

〈授業科目〉  
キャリアデザインA・B、基礎インターンシップ

**情報処理科目**

「しびといユーザー」を目指してパソコンを使いこなそう  
今や必需品となったパソコン。これを有効に使うか使わないかで、4年間の大学生活が変わってきます。パソコンを使いこなす力を身に付けます。

〈授業科目〉  
情報リテラシ1・2

**外国語科目**

45分授業を週2回実施。集中して学修し、英語(会話)能力を向上  
10年後、20年後は今まで以上に国際交流が盛んになり、外国語(特に英語)によるコミュニケーション能力が求められます。そこで、英語(特に会話)能力のさらなる向上を目指し、週2回45分授業を行うことで集中して継続的に学びます。

〈授業科目〉  
Intensive English1~8、中国語1・2、韓国語1・2、ロシア語1・2、海外英語研修A~C、英語特別講義A~D、基礎英語能力養成A・Bなど

	通常の授業	Intensive English
週	90分	45分
週	90分	45分

**第二外国語**  
本学はロシア、中国、韓国の大学と交流しており、この3か国語を第二外国語の選択科目としています。

**英語村を設置**  
外国人スタッフとクイズや料理などのアクティビティを通して、基礎的な英会話スキルとコミュニケーション能力を修得します。

**プロジェクト研究**

様々なふれあい、学び合いを通して自分で考え、自ら行動する力を養成  
プロジェクト研究1~4では、学生が自分の頭で考え、他者と協働しながら行動することを重視し、大学で学修していくために必要となる能力を養うことを目指します。筋道を立てて考える「思考力」、複数の異なる考え方から結論を得る「判断力」、自らの考えを他人に伝える「表現力」の3つの力を育て、「自分の意見を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶ態度(主体性・多様性・協働性)」を育むことを目指した授業を行います。プロジェクト研究1~4までを履修することにより、学問を行う基礎力を段階的に養います。

〈プロジェクト研究で用いられる指導方法〉  
●問題発見学修 ●問題解決学修 ●体験学修 ●調査学修

▶▶▶ プロジェクト研究の詳細は、34ページをご参照ください。

学びの特色

学びの特色



人間形成教育センター長

いま まさ かず

今井 正和 教授 専門 情報の収集と蓄積、可視化

豊かな「教養」で人間の幹を太くして、人生を楽しめる人間になろう

卒業してから新しい学問を一から学ぶことはよくあることです。それでも私たちが前進して行けるのは「教養」があるからです。本学では、その教養の土台となり、各々の専門性を深める力となるように4つの科目群と総合演習を設定しています。また、自分が所属する学部の学問分野だけではなく、在学中に幅広い分野の基礎を身に付けられる副専攻制度も設定しています。本学で素晴らしい人生の一步を踏み出しましょう。



特別 サイト



人間形成教育センター副センター長

あらた てつじ 荒田 鉄二 教授

【専門】 環境哲学、文明論、持続性論

自分の人生を自分で決めるという観点からすると、その中で自分が生きる世界がどのようなものであるのかを知っていることが大切でしょう。幅広い人間形成科目を学ぶことを通じて、大まかではあるにしても現代社会の全体像を示す、いわば「地図」を身に付けましょう。



人間形成教育センター副センター長

よしだ さとる 吉田 聡 教授

【専門】 数理論理学

私は数学的定理に対する証明の論理に注目し、コンピュータによる実行の仕方を明らかにする証明(構成的証明)を考察しています。学生の皆さんと、社会とコンピュータ、そしてその背景にある数理について学んでいきたいと思っています。



地域イノベーション研究センター長・人間形成教育センター副センター長

よしなが いくお 吉永 郁生 教授

【専門】 海洋微生物学、微生物生態学

大学では知識を自由自在に運用することを学びます。現代の環境学や経営学が直面する課題には必ずしも定式がありません。我々は1つ1つの課題に、広範な知識を総括的に運用することで答えを導き出します。まずは身の回りの小さな出来事に注意を払うことから始めてみてください。



坂本 修一 非常勤特任教授

【専門】 国語教育、学校経営

大学に行くのは「海を見る自由」を得るためなのではないか、と言った人がいます。つまり、自由な時間を得るためではないか、ということです。中学・高校時代にはなかった、時間を制御する自由を存分に味わってください。大学卒業後にその自由はないかもしれません。



BEGOLE, Bettina 教授

【専門】 英語教育、翻訳学 リテラシー

In addition to Intensive English, we also have advanced level classes. I teach the Applied Writing class, and the Advanced English classes. My English field is literacy, both reading and writing.



岩田 直樹 特任教授

【専門】 数学教育、教育学

江戸時代と明治時代を生きた福沢諭吉は「一身にして二生を經るが如し」という印象的な言葉を遺しています。人生100年時代、皆さんは「二生」どころか「三生」、「四生」を歩んでいくと思います。変化を愉しむ心、変化に対応できる人間力を培ってください。



徳山 瑞文 教授

【専門】 英語教育

"There are so many different varieties of English that there is really no such thing as 'English' --- there is only 'Englishes'." Please enjoy communication with more people around the world in your 'English', no need to worry about your mistakes.



中村 弘子 准教授

【専門】 英語教育、応用言語学

Intensive Englishでは、基本的に英語で授業を行い、4技能の向上を目指します。英語村とも連携して、様々な文化的背景を持つ教員やスタッフとコミュニケーションを取ることで異文化理解を深め、国際共通語としての英語の実践力を高めます。



BANVILLE, Sean 准教授

【専門】 英語教育、英語言語

Hello everybody, Welcome to Intensive English. I am the Speaking and Listening coordinator. I look forward to meeting you. Your English classes will help you to practice your communication skills. Please remember that English is important for your future job. I will be very happy to answer your questions.



市丸 夏樹 准教授

【専門】 自然言語処理、計算言語学

今日では、インターネットを通じて世界中の人々とのコミュニケーションが可能になっています。情報リテラシー科目では、コンピュータの操作から、サイバーセキュリティまで、現代のネット社会での生活に欠かせない実践的な知識と技能を身に付けます。



堀 磨伊也 准教授

【専門】 パターン認識・機械学習

近年、ビッグデータが容易に取得できるようになり、人工知能は日常生活において活用されています。ここで必要となる数理的思考やデータ分析・活用能力を磨き、社会における様々な問題を解決し、データから新たな価値を生み出す能力を身に付けます。



久保 奨 准教授

【専門】 オペレーションズ・リサーチ 応用数学、統計学

データを活用したビジネスや政策立案が求められており、データを収集・処理・分析する力が重要になっています。データや数理を使って、様々な問題・課題の解決に向けて、一緒に考えていきましょう。



小杉 卓裕 講師

【専門】 偏微分方程式論

大学入学は人生のゴールではありません。大学はこれから先待ち受ける困難に対応するための深い教養・広い知見・物事の学び方を身に付けられる場所です。ただし、自分から行動しないとダメです。大学入学後も学ぶ気持ちを忘れないでください。



MOUA, Jennifer 特任講師

【専門】 英語教育、国際文化学

It is such a joy to be a part of the Intensive English Program. You will create wonderful connections with your classmates and your teacher. I am here to help you and make sure you will learn and enjoy your English classes. English is a widely-spoken global language and I want you to be a part of it. I believe in you, I'm listening to you, and know that your future starts from here.

プロジェクト研究

答えのない問題に積極的に取り組み、自分の頭で考え他者と協働しながら行動する力を身に付けよう

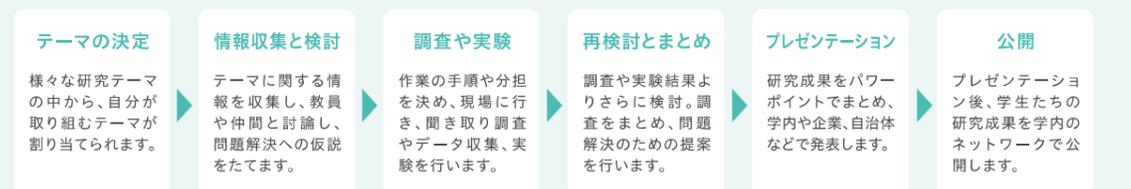
プロジェクト研究では、1・2年次の半期ごとに計4回、毎回異なったテーマ、メンバーで研究を行います。学生が自分の頭で考え、他者と協働しながら行動することを重視し、「思考力・判断力・表現力」を育て、「自分の意見を作りつつ多様な人々と協働して学ぶ態度(主体性・多様性・協働性)」を育むことを目指します。本学独自の特色ある科目です。



1 6つの要素を鍛える(プロジェクト研究1~4/1・2年次)

- |                             |                                  |
|-----------------------------|----------------------------------|
| <b>思考力</b> 筋道を立てて考える力       | <b>主体性</b> 自分の意見を作る力             |
| <b>判断力</b> 複数の異なる考えから結論を得る力 | <b>多様性</b> 異なる立場や意見を適確に理解する力     |
| <b>表現力</b> 自らの考えを他人に伝える力    | <b>協働性</b> 様々な人々とともに目的を達成しようとする力 |

2 プロジェクト研究の流れ



3 プロジェクト研究テーマ例(※2022年度の実施内容)

- IoTによる大山隠岐国立公園の療養効果定量化プロジェクト
- 森林空間の利用を考える ~キャンプ場、遊歩道等による森林サービス産業化に向けて~
- どうする?ローカル鉄道
- 宇宙から見る地球の変化と環境問題
- 環境大学ノベルティの開発
- 鳥取の街なかを調査し、ドキュメンタリー映像を作成する
- まちの「居場所」を考える
- 景観写真から地域社会を考える
- 公立鳥取環境大学のキャンパスデザインを提案しよう
- 鳥取県を対象とした福祉のまちづくりについて考える

在学生メッセージ



高村 ゆず子 さん (沖縄県出身)

学生の視点を大切にキャンパスデザインを提案

大学のキャンパスデザインを提案するプロジェクト研究に取り組みました。学生の視点を大切にして、「雨除けの遊歩道を作ろう」、「グランピングテントを設けよう」、「四季が見える植物を植えよう」という3つを提案。学部も学年も超えた混成チームで、それぞれの視点から活発に意見交換を行いました。その中でそれぞれが得意分野を活かして一つのことを成し遂げるという、今の時代に必要なチームワークを学ぶことができました。

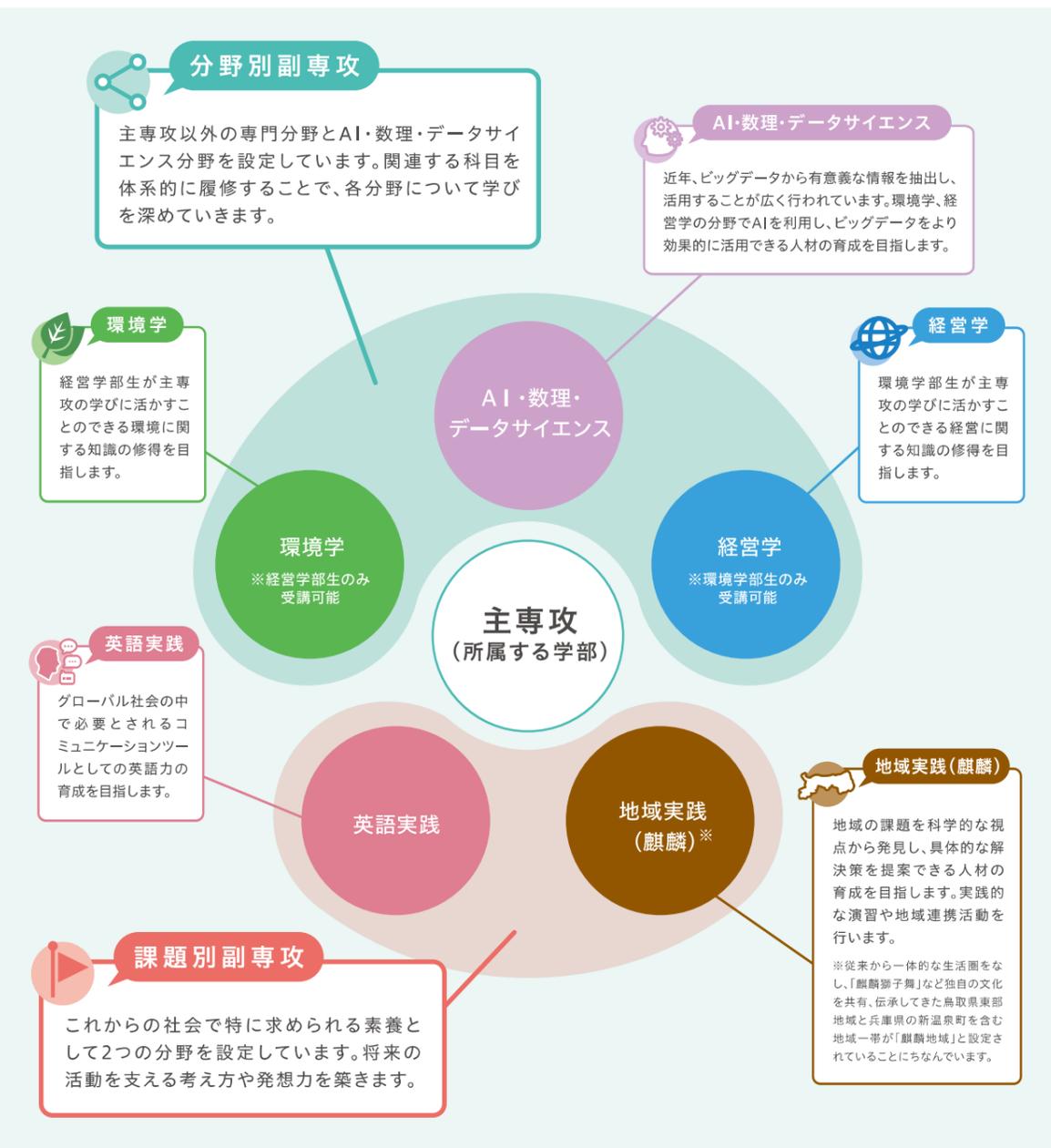


特別 サイト

# 副専攻制度

複数の専門性を身に付けた  
社会から求められる人材になる

これからの社会では、多角的な視点を持ち、応用・境界領域に強い人材が求められます。本学では副専攻制度を採用しており、「環境学」「経営学」の他に、必要な情報を活用する力を育成する「AI・数理・データサイエンス」、国際社会で必要となる英語力を育成する「英語実践」、鳥取に密着し在来知を学ぶ「地域実践」といった5つの分野を体系的に学べます。主専攻とは別に、興味のある分野を学び、境界を超えた発想力を養います。



## AI・数理・データサイエンス教育研究センター

### 〈設置の目的〉

AI・数理・データサイエンスの教育及び研究を行い、時代が求める人材の育成、社会への貢献に寄与することを目的として、2023年4月に設置しました。



センター長  
さいとう てつ  
齊藤 哲 教授

### データによる洞察、鋭い感性、自由な発想で 社会課題の解決と新たな価値創造へ

AI・数理・データサイエンスは、デジタル社会といわれる現代において、社会や企業に最も必要とされる分野のひとつです。本学が掲げるSDGsなどの「持続可能な社会の構築」には、高齢化・所得格差といった地域問題や廃棄物処理・カーボンニュートラルといった環境問題など、解決すべき複雑で多様な社会課題が数多く存在します。これらの社会課題の解決に向け、社会に存在する多種多様なデータの関係を読み解くデータ分析・利活用能力がますます重要になってきています。AI・数理・データサイエンス教育研究センターでは、(1)機械学習などのAI技術、(2)数理・統計学や情報学に関する知識、(3)ビッグデータなど多様なデータを収集・分析する技能の教育・研究を行います。また、地元の企業や行政機関との連携によって、実際にある社会課題を学生とともに洞察します。そうした経験によって、課題に対する鋭い感性と解決に向けた自由な発想を身につけ、さらにはデータに基づく合理的な意思決定で、新たな価値を創造する人材の育成を目指します。

### Profile

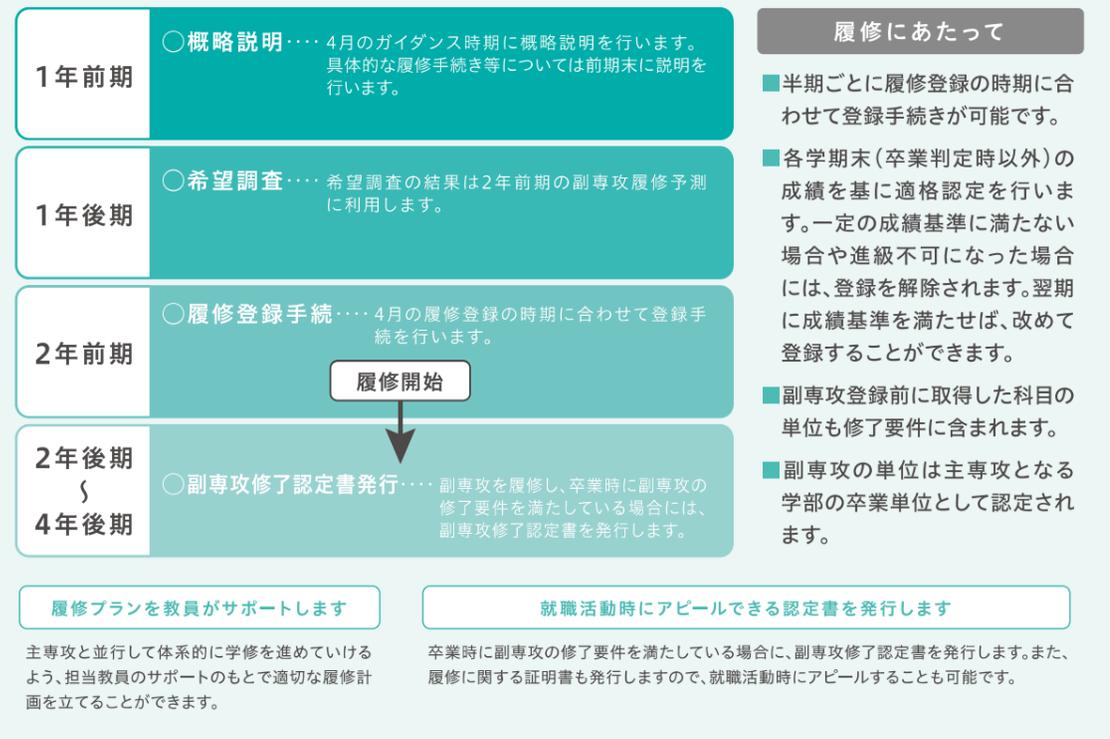
慶應義塾大学商学部を卒業後、1981年(株)日立製作所にシステムエンジニアとして入社。製造業・流通業を中心に、数多くのITを活用した業務改革プロジェクトを主導した。2015年より(株)日立産業制御ソリューションズ。AI&ビッグデータソリューションセンターを設立するなど、データ活用によるソリューション事業を推進、データサイエンティストなどの人材育成にも尽力した。(～2021年3月)。2018年3月早稲田大学創造理工学研究所経営デザイン専攻博士課程修了、博士(経営工学)取得。2021年4月公立鳥取環境大学経営学部教授、2023年4月公立鳥取環境大学AI・数理・データサイエンス教育研究センター長に就任。著書に「AI, IoTを成功に導くデータ前処理の極意」(日経BP社)がある。

### AI・数理・データサイエンス教育プログラムについて

AI・数理・データサイエンスは、デジタル社会の「読み・書き・そろばん」と呼ばれ、大学生の誰もが持つべき基礎的なものと捉えられています。本学ではこれらを体系的に学ぶために、レベルに応じて「リテラシー」と「応用基礎」の2つの教育プログラムを2023年度から開始しました。本教育プログラムでは今後のデジタル社会に必要な不可欠なAI・数理・データサイエンスに関わる様々な科目(講義、演習、実習)を提供しています。



### 副専攻の履修の流れ



# 分野別副専攻

## 環境学 ※経営学部生のみ受講可能

経営学部生を対象に、主専攻と並行して環境と人間の関係や環境に関する法令などの基礎的な理解を深め、環境問題の全体像を把握し、主専攻に活かすことのできる知識を身に付けることを目標とします。学部共通科目に加え、自然環境保全、循環型社会形成、人間環境の各分野の専門科目の一部を学ぶことで、環境学の中核的な内容を学ぶことができます。



### 科目一覧

科目名	1年次	2年次	3年次
学部共通科目	●自然環境保全概論 ●人間環境概論 ●循環型社会形成概論 ○環境と文明	○人間居住論 ○環境情報学概論 ○環境行政論 ○環境と倫理 ○環境法概論 ○環境政策論	○環境アセスメント概論
自然環境保全系科目		○生態学基礎 ○気象学概論 ○海洋環境学 ○森林科学概論	○保全生物学 ○基礎土壌学
循環型社会形成系科目	○廃棄物学入門	○環境とエネルギー ○応用微生物学概論 ○水環境工学1	○大気汚染防止 ○廃棄物処理技術
人間環境系科目			○景観計画と保全管理 ○地域生活文化論 ○都市の持続的発展 ○エコハウス計画 ○途上国の都市発展 ○木質構造計画 ○ジオパークと地域づくり

◎…必修 ●…選択必修 ○…選択 ※科目は変更になる可能性があります。

## 経営学 ※環境学部生のみ受講可能

環境学部生を対象に、主専攻と並行して企業などの組織や地域における経営の様々な課題に挑戦し、その解決について具体的に提案・実行するための基礎力を身に付けることを目標とします。経営学の初学者が体系的に学ぶ基盤となる内容を経営学部の学生と同等の水準で学ぶことができます。



### 科目一覧

科目名	1年次	2年次	3年次
学部基礎科目	◎経営学入門 ○経営戦略論1 ◎会計学入門 ◎商業簿記1 ○現代経済学入門 ○ミクロ経済学 ○統計学入門	○経営組織論1 ○管理会計 ○マーケティング1 ○ファイナンス入門 ○商業簿記2 ○マクロ経済学 ○財務会計 ○金融論	

◎…必修 ●…選択必修 ○…選択 ※科目は変更になる可能性があります。

## AI・数理・データサイエンス

主専攻の知識に加え、昨今の社会で要請されているAI(人工知能)、数理科学、データサイエンスについての基礎的な知識も備えた人材の育成を目標とします。AI技術とデータサイエンスを理解することで、それぞれの主専攻の分野で膨大なデータをより有効かつ効率的に活用できる能力を養い、さらに基盤となる数理を理解することで、新たな技法および技術を自分の力で修得していく能力も養います。カリキュラムは、AI・数理・データサイエンスの基礎を学ぶために効果的な科目を編成しています。



### 科目一覧

科目名	1年次	2年次	3年次
基礎科目	◎微積分学 ◎線形代数学 ○数理基礎 ◎プログラミング ◎統計学入門	○離散数学 ○インターネット ◎データサイエンス ○計算機の基礎 ◎データ構造とアルゴリズム	◎AI
展開科目		○データサイエンス実践演習 ○経営情報論 ○環境情報学概論 ○AMD実践実習A・B	○AI実践演習 ○データベース ○画像処理 ○環境データベース論 ○パターン認識 ◎情報倫理 ○地球観測学

◎…必修 ●…選択必修 ○…選択 ※科目は変更になる可能性があります。

# 課題別副専攻

## 英語実践

英語運用能力を高め、様々な話題について複雑な文章の主要な内容を理解し、国際共通語として英語を用いる人々と不自由なくコミュニケーションができ、幅広いテーマについて明確で詳細な文章を作成できるようになることを最終的な目標とします。英語運用能力を養成する英語応用科目、英語発展科目、実際に英語が使えることを確認・実感する英語実践科目があり、段階的に英語力向上を目指します。また、英語力を客観的に証明する外部資格試験に向けた学修支援科目もあります。



### 科目一覧

科目名	1年次	2年次	3年次
英語応用科目		○Advanced English 1~4	
英語発展科目		○Advanced English 5~8	
英語実践科目	○英語活動A・B ○海外語学実習A・B ○海外英語研修A~C	○Case Analysis	○英語特別講義A~D
学習支援科目	○基礎英語能力養成A・B ○応用英語能力養成A・B		

◎…必修 ●…選択必修 ○…選択 ※科目は変更になる可能性があります。

## 地域実践(麒麟)

地域独自の「在来知」を深く学び、体験する中で課題を発見し、大学で学ぶ普遍的な「専門知」をうまく運用し、地域社会の現実的な課題に実践的に対処する力を身に付けます。また、「主体性」や「判断力」、他者を受け入れ問題解決に導く「多様性」や「表現力」、「協働性」なども身に付けるために、演習や地域連携活動などを行い、地域の課題に積極的に関わるリーダーシップを持つ人材育成を目標とします。麒麟基礎科目、演習科目、地域志向科目の3つの科目があります。



### 科目一覧

科目名	1年次	2年次	3年次
基礎科目	◎鳥取学 ◎プロジェクト研究		◎麒麟の知
演習科目	○基礎インターンシップ ○特別演習A~C	○鳥取グリーンベンチャー	○ワークショップ
地域志向科目		○生態学概論 ○自然環境と文化 ○3R工学 ○都市居住計画	○環境データベース論 ○地域エネルギーシステム論 ○漁業資源保全学 ○都市の自然環境形成 ○保全生物学 ○農村の持続的発展 ○森林政策論 ○歴史遺産保全論 ○バイオマス変換論
		○地域経済論 ○地域経営論 ○公共経営論 ○流通論 ○社会調査法	○地域政策論 ○コミュニティビジネス論 ○地域産業論 ○観光経営論 ○公共政策論 ○地域振興論 ○中小企業経営論 ○農業経営論 ○地域マーケティング ○経営学特別講義B ○非営利組織論

◎…必修 ●…選択必修 ○…選択 ※科目は変更になる可能性があります。

副専攻についての動画をチェック!

「副専攻制度」について、学びの特徴や学修スタイル、カリキュラムについて動画で紹介しています。主専攻の学びを補完するとともに、視野を広げ、柔軟な発想力の向上にも貢献します。

公式 YouTube チャンネル

学びの特色

学びの特色

# 国際交流

留学経験は人間性を豊かにし  
実践的な語学力の修得は可能性を広げます

## 1 多文化交流空間「英語村」

### 実践的な英会話を楽しく学べる疑似英語圏体験空間

本学には楽しく自然に英会話スキルとコミュニケーション能力を身に付けられる「英語村」があります。外国人スタッフと英語で会話を楽しむチャットのほか、料理やゲームなどのアクティビティや季節のイベントも開催しています。スタッフの国籍は様々で、英語だけでなく世界各国の文化にも触れることができます。



## 2 学生交流プログラム

本学はロシア、中国、韓国の大学と相互交流協定を結んでいます。清州大学（韓国）やウラジオストク国立経済サービス大学（ロシア）との間では学生派遣や受入を行っており、2021年にはセントラルクリスチャンカレッジオブカンザス（アメリカ）も協定校に加わりました。それぞれの交流や文化体験を通じて、相互理解を深めていきます。



## 3 短期語学留学

カッセル大学（ドイツ）の短期語学留学では、観光・産業・再生エネルギーなどのテーマについて英語で学び、発信する力を培います。他にもサザンクロス大学（オーストラリア）、トリニティウエスタン大学（カナダ）、ワーナーパシフィック大学（アメリカ）などの留学先があります。どの留学もホームステイやアクティビティなどを通して、24時間英語に触れて会話力を高めるとともに、現地の文化や暮らしを学びます。



## 4 留学生サポーター制度・交流会

留学生の日本語学習や生活相談などを行いながら、異文化を相互に学びあうことを目的とする「外国人留学生サポーター制度」を設けています。国際交流センター主催の交流会のほか、サポーター学生の呼びかけにより、自発的に花火大会に同行したり、懇親パーティーを開催したりするなど、充実した活動が行われています。



### 在学生メッセージ



**佐藤 萌結さん**  
(徳島県出身)

### 先進的な町ポートランドでSDGsに関するプログラムに参加

オレゴン州ポートランドに約3週間の留学に行きました。今回はSDGsに関するプログラムへの参加でした。町の人々にインタビューする機会もあったのですが、皆さん気さくに話してくださり、コミュニケーション能力の高さとSDGsへの意識の高さを感じました。留学準備に関しては国際交流センターのサポートが受けられたので、大変スムーズでした。卒業後は海外と取引している日本企業に就職したいと考えています。



特別  
サイト



# SDGs (持続可能な開発目標)

「環境」「経済」「社会」の持続可能性について  
SDGsに貢献する人材を育成します

SDGsを達成するためには長期間の継続的な取り組みが必要なため、SDGsに取り組む人材の育成(教育)、ノウハウの提供(研究)などの面で、大学に大きな期待が寄せられています。本学は、基本理念がSDGsの趣旨に一致することから、2018年10月10日、大学として一丸となってSDGsに取り組むことを宣言しました。

教育面では、総合教育科目の環境学概論やSDGs基礎のほか、17すべての目標に関連する授業科目を用意しており、学生の興味に合わせてSDGsを学修することができます。また、SDGsの考え方を地域に普及する活動を行っているサークルや学生団体もあります。

### 活動紹介



#### SDGsオンライン講座

「持続可能な社会」の実現を目標に、本学の教育リソースをオンラインの講座として提供しています。高校生をはじめ、学校、ステークホルダーなど多くの人が、持続可能な社会の発展に向けて知識向上を図ることができます。現在、本学公式YouTubeチャンネルで18本のオンライン講座を公開しています。(2023年4月時点)



動画を見る

#### SDGsカフェ「世界の食糧問題と昆虫食」

これから訪れる食糧問題の解決の一つとして、「昆虫食」をテーマにイベントを開催しました。日本のコンビニエンスストアにおける一日の食品廃棄量は10kgにおよび、食品廃棄量の5%を占めることなどを紹介するとともに、実際に昆虫食の試食を通して昆虫食の課題について話し合いました。まだまだ食糧としての活用にはハードルが高いですが、食料問題を考えるきっかけとなりました。

#### SDGs連携事業

鳥取商工会議所工業部会と本学の教員・学生が連携しSDGsの取り組みを進めています。2022年度は3社が抱える課題に取り組みました。豆乳製造で排出されるおからの処理の問題、原木椎茸植菌時に使用する発砲スチロールのゴミ問題、SDGsの観点からの新商品づくりなど、企業が直面している問題に取り組むことが、学生の成長を促す貴重な機会となっています。



▲原木しいたけ植菌時に「生分解性素材のフタ」を用いた栽培実験

#### 海洋ごみに関する調査

学生EMS委員会は、河川から海洋へのごみ流入に関する調査を実施しました。鳥取県東部を流れる千代川の特定点からGPS付きの容器を流し、ごみの滞留箇所の傾向について、川の水位とも関連づけながら、約1か月間にわたり確認しました。委員会では、これまでも小学校で「海洋ごみ問題」の出張授業などにも取り組んでおり、今後も自治体や市民とともに海洋ごみ削減の活動に取り組む予定です。



▲GPS付容器を用いた河川から海へのごみ流路特定調査



### 在学生メッセージ



**戸知谷 桃羽さん**  
(岩手県出身)

### SDGsに関連する社会問題に興味。将来は「環境」と「経営」のかけ橋に

もともと環境をはじめ、SDGsに関連する社会問題に興味がありました。「環境」と「経営」という一見相反するイメージがあるかもしれませんが、その両分野のかけ橋になれるコンサルタントが、私の思い描く将来像です。また2年生のときには福祉や介護分野にも興味を持ち、本学のSDGs活動助成金を活用して福祉系のイベントも開催しました。学生生活を充実させるためには何事にも興味を持ち、積極的に面白がるのが大事だと思います。



特別  
サイト



# 環境経営研究科 修士課程

環境学専攻

経営学専攻

「経営」視点を持った環境学  
「環境」を意識した経営学がいま求められています

大学院環境経営研究科では、主として自然科学を軸とする「環境学専攻」と、社会科学に軸をおく「経営学専攻」、そして研究科共通の「環境経営科目群」を配置しています。学部での環境、経営に関する基礎的知識をもとに、より専門性の高い知識、思考力、実践力の獲得を目指しつつ、環境を切り口に自然科学と社会科学が融合した基礎学を修得して、「人と社会と自然との共生」、「持続可能な社会」の構築に向けた、実現可能な提案や、その提案に基づいた実践的行動ができる高度専門職業人を育成します。

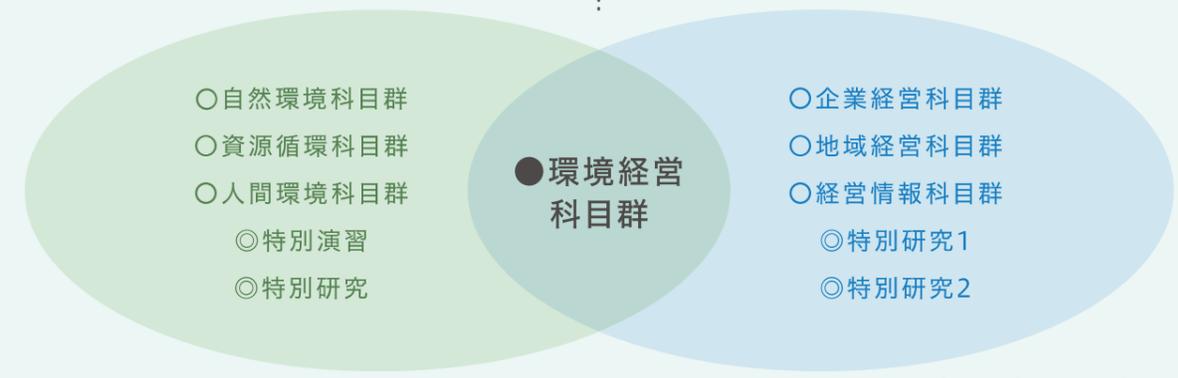
## 環境学専攻 修士(環境学)

環境学専攻の教育目標は、環境学だけでなく経営学の視点を持ちながら、持続可能な社会の構築に向けて貢献できる人材を育成することです。また、地域資源の管理や保全について、現実に即した有効で具体的な提案ができる人材育成を目指します。研究科共通科目である「環境経営科目群」に加えて、領域の専門性を高めるために「自然環境科目群」「資源循環科目群」「人間環境科目群」の3つの科目群を設置しており、学生自身の問題意識、研究テーマに応じて科目を選択します。各科目群は、地域の実際の問題に接し、その問題解決につながる提案や活動にむすびつく内容やフィールド活動を盛り込む講義内容となっています。また、必修科目として「特別演習」「特別研究」を設置し、学生自身の問題意識を育てて研究のテーマ追究を個人指導し、修士論文の作成に向けて取り組みます。



## 経営学専攻 修士(経営学)

経営学専攻の教育目標は、環境経営的視点かつ経営学の基幹的知識を身に付けたうえで、企業経営、地域経営、経営情報への応用力を形成する教育研究を行うことです。環境経営的視点を持ちつつ、経営学の基本的知識と分析力、仮説構築力を身に付けた、環境経営マネジメントを主導できる人材、高度な企業経営を主導できる人材、地域経営や地域経済活性化に活躍できる人材、企業経営において情報基盤を活用できる人材等の高度専門職業人を育成します。「企業経営科目群」「地域経営科目群」「経営情報科目群」の3つの科目群、および研究科共通科目である「環境経営科目群」を設置し、学生自身の問題意識、研究テーマに応じて選択できるカリキュラムとなっています。また、必修科目の「特別研究1」「特別研究2」では、学生自身の問題意識を育てて研究のテーマ追究を個人指導し、修士論文の作成に取り組めます。



### 進路イメージ

- 自治体における環境政策や環境アセスメントの担当者
- 企業における環境マネジメントの立案や実施担当者
- 地域行政におけるリサイクルシステムの設計や実施に関わる担当者
- 再生可能エネルギーの導入に関わるコーディネーター
- 環境保護や地域づくりに関わるNPO法人の職員

### 進路イメージ

- 環境系企業における経営管理、戦略立案、財務マネジメント、企画担当者
- 大企業の経営管理、戦略立案、財務マネジメント、企画担当者
- 地方有力企業、地方官公庁における経営管理、戦略立案、財務マネジメント、企画担当者
- 企業の情報基盤活用担当者

# 附属研究機関

サステナビリティ研究所、地域イノベーション研究センターでは持続可能な社会の実現に向け、研究を進めています。研究室、ギャラリー・ホールなどを備えています。



## サステナビリティ研究所



研究所長  
たじま まさき  
田島 正喜 教授

東京工業大学卒業、同大学院総合理工学研究科電子化学専攻修士課程修了後、東京ガス株式会社入社。2002年新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)エネルギー・環境技術開発室長。2009年3月東京大学大学院農学生命科学研究科生物・環境工学専攻修士課程修了。2011年4月より九州大学大学院工学研究科機械工学部門教授。2015年地球環境産業技術研究機構(RITE)CO<sub>2</sub>貯留G出向、九州大学水素エネルギー国際研究センター客員教授。2017年4月より公立鳥取環境大学環境学部環境学専攻教授。2020年4月より公立鳥取環境大学サステナビリティ研究所長。

## 持続可能な社会構築に向けた 共同事業、諸研究を展開

化石燃料を大量に消費し続けると、二酸化炭素のような温室効果ガスが増大して地球温暖化現象を引き起こすなど環境負荷が増大し、持続可能な社会を維持することが困難になります。これを防ぐためには、経済性を考慮しつつ、再生可能エネルギー導入を拡大し、水資源、バイオマス資源などの有効利用とリサイクルを推進し、生物多様性を維持し生態系を守ることが必要になります。これらは国連サミットで採択された17のゴールから構成されている持続可能な開発目標(SDGs)とも基本的に一致するものと考えます。私共は本研究所の独自性を活かし、本学としてのSDGs活動を推進しつつ、グローバルな視点を持って地域社会の発展や活性化に貢献したいと考えています。この実現に向けて下記に掲げる活動をしなが学生とも一緒に行動するとともに、持続可能な地域社会を目指し、次世代のための人材育成を図ります。

### 活動計画

- 持続可能性の維持・確立に関する研究の実施
- 研究成果報告会等の開催(SDGs)
- 県や市等の自治体や商工会議所、民間企業とのSDGs関連事業の共同実施
- SDGs推進会議への参画



## 地域イノベーション研究センター



センター長  
よしなが いくお  
吉永 郁生 教授

京都大学農学部水産学専攻卒業、同大学院農学博士學位取得。文部省在外研究員としてアメリカ合衆国オレゴン州立大学に留学後、京都大学大学院農学研究科助教を経て、2013年4月より鳥取環境大学環境学部環境学専攻教授、大学院環境情報学研究科環境情報学専攻教授。2015年4月より公立鳥取環境大学環境学部環境学専攻教授、大学院環境情報学研究科環境情報学専攻教授。2016年4月より同大学地域イノベーション研究センター長・大学院環境情報学研究科環境学専攻教授。

## 地域に関する研究や実践を通じて、 人材の育成へ、そして生き方の創造へ

これからの日本は人口が減少し、高齢化することは確実です。その中で新たな生き方を模索し、創造していかなければなりません。ある人の生き方は、常に、住んでいる場所の自然環境や社会、そして文化や歴史と密接に関係しています。だからこそ、本学の理念「人と社会と自然との共生」は新しい生き方の重要な価値観です。地域イノベーション研究センターでは、固有の自然環境を基盤とする鳥取県の地域社会や文化、産業について、様々な課題に取り組んでいます。この地域の研究・実践を通じて、学生が将来、地域の中で主導的にその役割を果たせる立場になることを目標にしています。地球レベルの環境問題であっても、その解決策は地域の中に存在することを認識し、小さな鳥取県での取り組みが将来は世界のモデルになるであろうことを意識して学修していきます。Act Locally, and Think Globally !!

### 研究例

- 科学的データに基づく農水産物の「鳥取ブランド」育成
- 有機物のノンターゲット解析データを活かした持続可能な農業技術の開発
- 体験型観光等をツールとした地域関係人口の増大と地方での新しい生き方の提案 など



# 一人ひとりの進路の希望や悩みを聞き ゴールに向かってともに走ります

就職支援センターのスタッフをはじめ、キャリアカウンセラーや就職実践講師などの専門家が就職活動をサポート。学生一人ひとりの相談に親身に対応します。また、3・4年次の採用情報解禁、選考活動解禁に向けて、社会に出る土台づくりを1年次から開始。1年間にキャリアデザインの講義を15回実施し、就職活動に向けた知識やスキル習得に向けて指導します。さらに、就職アドバイザーが定期的に主要都市にある企業の訪問を実施し、求人開拓にも力を入れています。遠方で就職活動をする学生には交通費や宿泊費の補助も行っています。資格・検定の取得を目指す学生には、4年間を通して学内講座による資格支援講座を開講するなど充実した体制でサポートをしています。



### 就職内定率

2022年度実績

# 98.7%

### 環境学部

# 98.1%

内定者数 101名 / 就職希望者数 103名

### 経営学部

# 99.2%

内定者数 127名 / 就職希望者数 128名

### 地域別就職内定者数

※地域は就職内定先の本社所在地



### 卒業生メッセージ



特別サイト



**村上 晴輝さん**  
(熊本県出身)2022年度卒業

「マグロの国際交渉に当たりたい」  
それができる水産庁へ

「マグロの国際交渉に当たりたい」という思いがあり、それができるのが水産庁でした。もともと私は魚が好きで、ゼミも魚について研究できる太田ゼミに入りました。先生の紹介でサケの養殖を手がけている鳥取県西部の水産会社にインターンシップに行ったこともあります。この貴重な経験については、面接時に学生時代のエピソードとしてしっかりアピールしました。とにかく大学時代は経験をたくさん積むことが大事です。それは就職活動でも必ず役立ちます。

## 水産庁 合格



### 環境学部 主な就職・進学先 (2018~2022年度卒業生)

【一般企業】  
 (農業・林業)西日本ジェイエイ畜産、みんなの牧場(建設業)アイテック、アキュラホーム、朝日工業社、鳳工業、カナツ技建工業、かんでんエンジニアリング、木内計測、九電工、島根電工、白月工業、第一技研、東京エネシス、トーエネック、中林建設、西原環境、ニッカホーム、日さく、広葉、アソウ、メタウォーター、メタウォーターサービス、ヤマタホーム、ライフデザイン・カバヤ、愛機工業(製造業)愛知時計電機、アサヒホールディングス、あわしま堂、出雲村田製作所、岩谷瓦葺、ウェルファームフーズ、尾池工業、大阪シーリング印刷、オカネット工業、オーニット、カクダイ、児湯食鳥、三和ドック、大日本除虫菊、ダイハツ九州、中国木材、徳真電気工業、トヨコ、南国興産、日新工業、日新ホールディングス、日本板硝子、フジクリーン工業、ホーコス、丸五ゴム工業、マルサンアイ鳥取、三浦工業、宮崎県農協果汁、山崎製パン(電気・ガス・熱供給・水道業)アイ・グリッド・ソリューションズ、シン・エナジー(情報通信業)インビリティ、エイチ・エル・シー、NTTデータ・ビーンサービス、科学情報システムズ、キノトロップ、テクノプロジェクト、第一コンピュータリソース、中広、日本ラッド、日本海ケーブルネットワーク、東日本電信電話、ビジネスアソシエイツ、プロビズモ、LASSIC、両備システムズ(運輸業・郵便業)エムケイJR西日本交通サービス、西日本旅客鉄道、日本交通、日本郵便、富士物流、(卸売業・小売業)アセシテック、アベックス、アロージャパン、イオンリテール、イオンペーパー、イズミ、イズミヤ、井上カーグッド、インフォアーム、maテレコム、岡山ダイハツ、貝印、学映システム、ガスパル、九州ケーズデンキ、ゲンキー、コスモネット、コタニ、コンドレック、コーナン商事、再春館製菓所、山陰酸素工業、末松九機、生活協同組合コープ、ゼン・トレーディング、外林、ダイゼン、ダリア、ダイレックス、ツカサ、津田産業、ツバメガスフロンティア、ツルハグループドラッグアンドファーマシー西日本、ツルハグループドラッグ&ファーマシー西日本、東京ガスリックリビング、ナフコ、日興商会、ネクストエナジー・アンド・リソース、原商、パローホールディングス、ビッグモーターグループ、平林金属、広印広島青果、フジ、富士電機産業、フジモトHD、藤原産業、扶桑電通、フーズマーケットホック、マックスパル九州、丸永グループ、ミツフロンテック、宮川工機、矢崎総業、ヤンマーアグリジャパン、リコージャパン、ロック・フィールド(金融業・保険業)あいおいニッセイ同和損害保険、倉吉信用金庫、高知銀行、鳥根県農業共済組合、栃木銀行、明治安田生命保険相互会社(不動産業・物品賃貸業)アクティオ、エイブル、カチタス、山王スペース&レンタル、三信産業、昭和住宅、タカミヤ、帝人ヘルスケア、長谷工リアルエステート、福屋ホールディングス、モリス(学術研究・専門・技術サービス業)インベックスエンジニアリング、計測技研、森林研究、整備機構森林整備センター、スタジオエアリス、静環検査センター、西部技術コンサルタント、千、大同コンサルタント、大洋測量設計、中央開発、西谷技術コンサルタント(宿泊業・飲食サービス業)サルが両備、知床グランドホテル、帝国ホテル(生活関連サービス業・娯楽業)一般財団法人公園財団、大木家、サニクリーン中国、南都、日本セレモニ、平和観光、丸三(教育・学習支援業)With Win、屋久島おおぞら高等学校、秀英予備校、自由学園女子部中等科、国際情報ビジネス専門学校(医療・福祉)アースサポート、神港園、鳥取県保健事業団、日の出医療福祉グループ、ベネッセスタイルケア(複合サービス事業)ぎぶ農業協同組合、下野農業協同組合、全国森林組合連合会、全国農業協同組合連合会青森県本部、全国農業協同組合連合会愛媛県本部、鳥取中央農業協同組合、鳥取いなば農業共同組合、日南町森林組合、福山市農業協同組合、龍神村森林組合(サービス業(他に分類されないもの))アウトソーシングテクノロジー、アース環境サービス、イオンディライト、一般社団法人岡山環境検査センター、イージーエス、ウイルテック、エステム、愛媛総合警備保障、クイック、クリタス、サニックス、JCBエクス、成通、セーバー技研、大栄環境、月島テクノメンテサービス、テクノプロ・コンストラクション、データベース、東洋ビルメンテナンス、日研トータルソリューション、日本技術センター、農山漁村文化協会、ベルクリック、マーキュリー、水ing、水ingAM、ワールドインテック

【公務員】  
 環境省、厚生労働省、水産庁、林野庁、福島県、東京都特別区、愛知県(農業)、福井県(農林業)、京都府(林業)、大阪府、兵庫県、鳥取県(一般、水産、農業、林業)、島根県(農業、林業)、徳島県(農業)、香川県(水産)、愛媛県、熊本県、静岡県、豊川市、一宮市(消防)、香芝市、京丹後市、鳥取市、東広島市、三好市、三豊市、八幡浜市、南九州市、鳥取県警、岡山県警、航空自衛隊、陸上自衛隊

【教員】  
 北海道、福島県、大阪府、鳥取県、広島県、高知県、長崎県、大阪府

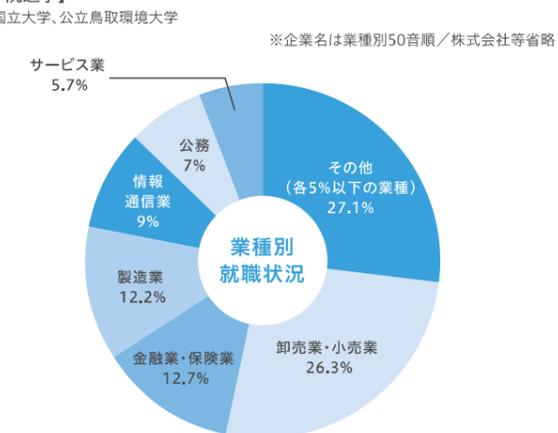
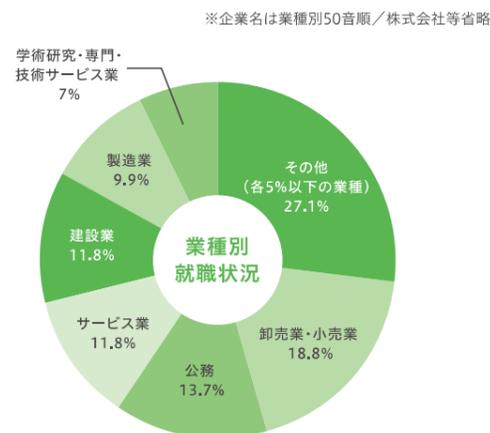
【大学院進学】  
 北海道大学、東北大学、筑波大学、東京大学、横浜国立大学、金沢大学、名古屋大学、京都大学、大阪教育大学、兵庫教育大学、鳥取大学、広島大学、高知大学、大阪市立大学、大阪公立大学、兵庫県立大学、公立鳥取環境大学、慶応義塾大学

### 経営学部 主な就職・進学先 (2018~2022年度卒業生)

【一般企業】  
 (建設業)一畑工業、岩水開発、大阪城口研究所、鹿島道路、金下建設、三栄建設、秀光ビルド、白石建設工業、住友林業、大和ランテック、東建コーポレーション(製造業)アルファー食品、安泰ニット、イワキ、NTN、大阪銘板、大下産業、大山どり、大山乳業農業協同組合、オージー技研、柿原工業、川重石工エンジニアリング、川西水道機器、久商、廣榮堂、寿製菓、壽製菓、是常精工、サラダクラブ、三相電機、新関西製鋼、新来島サノヤ造船、スワニー、滝澤鉄工所、テラル、東京エレクトロン、トピア、日清食品ホールディングス、日本セラミック、濱中製鎖工業、photosynth、藤井電工、不二電子工業、フジパングループ、不二家、プライムプラネットエナジー&ソリューションズ、ボッカサッポロフード&ビブレレジ、武蔵野、メイワックス、ロンタイ(電気・ガス・熱供給・水道業)沖縄ガス、名張近鉄ガス(情報通信業)アイデス、アイル、アドヴェンスト、インフォメーション・デザイン、アール・エム、愛媛朝日テレビ、キューブシステム、京セラコミュニケーションシステム、共同コンピュータ、ケイズ、コベルコソフトウェア、コロブラ、サイネックス、山陰ケーブルビジョン、システムエンタープライズ、システムズナカシマ、SHINKO、新日本海新聞社、ソフィア、ソフパ、テクノ・セブン、東芝情報システム、東都システムズ、鳥取県情報センター、日本コンピュータシステム、ノバシステム、マイナビ、ヤマトシステム開発、LASSIC、リコーITソリューションズ(運輸業・郵便業)伊勢湾倉庫、岡山交通、長崎自動車、西日本ジェイアールバス、東日本旅客鉄道、福山通運(卸売業・小売業)アイ・ティー・エックス、アイングループ、青山商事、アダストリア、アルファ、イオンリテール、いすゞ自動車中国四国、伊丹産業、ウェブシャーク、宇都宮製作、エコーレーディング、エパルス、エレクトロ、ガスパル中国、カワニシ、北浜製作所、京都市もの友禅、グッディ、グッディ、ケーウエー、コスモス薬品、コニシ、坂本産業、佐渡島、山陰パナソニック、サンパ、ジェイアールサービスネット岡山、システム、シックス、島根トヨタグループ、島村楽器、ジンス、ジンプライオメット、杉本商事、スズキ自動車、スズキ自動車、セイエス、生活協同組合コープおいた、生活協同組合しまね、ダイトロン、ダイハツ広島販売、大洋製器工業、田中商事、ダンロップタイヤ中国、ディーエス、アールフレックス、デジラールホールディングス、天満屋ストア、東京靴、トップ産業、トヨタモビリティパートナーズ、トライ産業、ナンパホームセンター、日本樺材、日本郵船商事、ネットヨタ兵庫、パナソニックコンシューマーマーケティング、パルミキ、パルコス、パルコムモーターズ、ハローズ、BANKANわのもや、ハンズマン、日ノ丸産業、ヒラタ、富士電機テクニカ、藤田商店、藤徳物産、ブルーコンシャスグループ、ベネフィットジャパン、ホンダ山陰中央、マツサスーパー、マリウッドコスメテック、ムトウ、元林、コムマットラフ、山陰信販、四国銀行、島根中央信用金庫、しまね信用金庫、信用組合広島商銀、但馬信用金庫、但馬信用金庫、第一生命保険、中銀証券、中国銀行、中国労働金庫、津山信用金庫、TOKAIホールディングス、鳥取銀行、鳥取信用金庫、鳥取県信用農業協同組合連合会、トマト銀行、名古屋信用保証協会、南都銀行、西村証券、日田信用金庫、明治安田生命保険相互会社、山口フィナンシャルグループ、ゆうちょ銀行、米子信用金庫、両備信用組合(不動産業・物品賃貸業)六吹ハウジングサービス、ケイアイスター不動産、ゲオホールディングス、住友三井オートサービス、大東建託パートナーズ、トヨタレンタリース岡山、西尾レントオール、ハウストゥ(学術研究・専門・技術サービス業)協和設計、TETRAPOT、不破環境検査、富士技術開発、ベリサーチ、あずさ監査法人(公認会計士)(宿泊業・飲食サービス業)アパグループ、エスエルティ、くら寿司、グリーンホテル・ズコーポレーション、タリーズコーヒージャパン、大起水産、東急リゾートサービス、ワールド・ワン(生活関連サービス業・娯楽業)三永、セツ、トーカイ、マルハン、ルビー、ルルアーク(教育・学習支援業)公立鳥取環境大学、ピーシー・インクス、田中学習会(医療・福祉)大阪府国民健康保険団体連合会、国立病院機構東海北陸グループ、松寿苑、地域医療機能推進機構、鳥取県厚生事業団、ニチイ学館、兵庫県国民健康保険団体連合会(複合サービス事業)えひめ中央農業協同組合、岡山市農業協同組合、全国農業協同組合連合会鳥取県本部、たじま農業協同組合、新見市森林組合、晴れの国岡山農業協同組合、わかやま農業協同組合(サービス業(他に分類されないもの))アサンテ、アビリティセンター、イーウェル、ALL CONNECT、カーネル・ソフト・エンジニアリング、グロップ、三機サービス、JPソーウェイクンタクト、東武トップツアーズ、トランスコスモス、ネオキャリア、パーソルホールディングス、メンテックカンザイ、メンバーズ、夢真ホールディングス

【公務員】  
 防衛省、国土交通省中国地方整備局、鳥取県、鳥取県東部広域行政管理局、あわら市、京丹後市、波路市、高砂市、姫路市、美作市、新見市、高梁市、笠岡市、鳥取市、倉吉市、安来市、東かがわ市、静岡県警、兵庫県警、愛媛県警、山口県警、福岡県警、自衛隊熊本地方協力本部、鳥取中部ふるさと広域連合

【大学院進学】  
 横浜国立大学、公立鳥取環境大学



# 就職支援センター

就職支援センターでは、学生一人ひとりに寄り添い、不安や疑問を解消しながら、希望する就職先への内定を目指し、就職活動のサポートを行います。1年次の進路ガイダンスや資格・検定の取得支援に始まり、3年次には全学生と個人面談を行うなど、小規模大学ならではの手厚いバックアップを実施しています。



## Support1 きめ細かなガイダンスと面談

### 就職ガイダンス



企業が求める人材は？企業選びのポイントは？自己分析の方法は？など就職活動の基本を指導します。不安や疑問を解消し、積極的に就職活動に取り組めるようにします。

### 全3年生対象の個人面談



本学では3年生全員と個人面談を行います。一人ひとりに併走し、個々の希望やみんなの前では話せない悩みなどに耳を傾け、適切なアドバイスをします。

### 就職アドバイザー

#### 吹野 之彦

仕事をするときに求められる力は、正しい答えがない課題を解決する人間力です。勉強はもちろん、アルバイトや地域活動など様々なことを経験しましょう。



特別  
サイト ▶

### 学内企業説明会



鳥取県内外の大手企業や優良企業を学内に招いて説明会を開催しています。関心のある企業の人事担当者と面談し、選考スケジュールや採用ポイントなどについて直接話すことができます。

### キャリアカウンセラー



就職活動への意識や悩みは千差万別です。不安になっている内容を一緒に考え、自分で自分の課題や長所に気づけるようにアドバイスします。仕事や生き方にもしっかりした考えを持てるよう手助けします。

## Support2 就職活動へのサポート

### 就職活動への経済的な支援

鳥取県外や地元での就職活動を積極的に行えるよう、交通費や宿泊費の一部を助成する制度があります。

必要な交通費を就職活動で上限50,000円までインターンシップで上限30,000円まで補助。

宿泊費を1泊につき3,000円補助。(就職活動で上限15,000円までインターンシップで上限9,000円まで)

鳥取-大阪間のバスチケット片道通常3,800円を割引価格1,700円で販売。

※制度は2023年度時点のものです。変更となる場合があります。

### 就職活動支援システム「TUESキャリアナビ」

本学学生向けの求人情報やインターンシップ情報、学内で開催する就職ガイダンスなど、就職活動に欠かせない情報が満載。先輩達の就職活動についてもまとめられており、成功の秘訣を知ることができます。

## Support3 公務員試験合格や資格取得を目指す

### 公務員試験対策講座・資格取得支援講座を開講

Wスクールともいえる公務員試験対策講座や資格取得支援講座を学内で開講しています。講座費用の一部を本学がサポートし、学生の経済的な負担を軽減しています。さらに、合格者への表彰制度もあります。

### 資格・検定サポートの2つの特色

#### 1. フォロー制度

本学には学生たちの可能性を伸ばすために担当職員を配置し、様々な相談に応えるほか、温かく見守り合格へとサポートします。さらに復習などのフォローのために、一部の講座では講座内容をWebで視聴できるしくみを整えています。

講座形式	講師派遣+Web講座	Web講座
資格講座名	●公務員試験対策講座	●日商簿記検定1-2,3級対策講座 ●FP2級・3級対策講座 ●SPI対策講座

※制度は2023年度時点のものです。変更となる場合があります。

#### 2. 学生表彰制度(資格・検定)

本学が定める資格・検定に合格した学生を対象に、学長が表彰するとともに、副賞を授与します。

##### 〈2022年度の学生表彰一覧〉

- 公認会計士試験合格
- 日商簿記検定2級合格
- FP2級合格
- CEFR B1相当
- CEFR B2相当以上

経営学部4年  
伊坂 友里さん



合格

- 日商簿記検定試験2級(2年次2021年11月)
- FP技能検定試験2級(3年次2022年5月)
- TOEIC IP高得点(3年次2022年3月)
- 秘書検定試験2級(2年次2021年12月)

### 資格取得

進路に役立つことを何か始めたい、と考えついた答えが資格取得でした。手始めに日商簿記に挑戦。試験と大学の勉強は高立が大変でしたが、長期&短期の目標を立て計画通り実行。友達と「次はこの資格を取ろう!」と同じ目標を持ち、競うことでやる気も持続。熱意を伝え先生も巻き込むことで直接の指導が受けられたことも大きなポイントです。

## Support4 就職アドバイザー

就職アドバイザーを鳥取県、山陽地区に配置。積極的に企業訪問や求人開拓を行っています。

#### 〈支援内容〉

- 進路全般に関する相談
- 求人情報提供
- 履歴書・エントリーシートの添削
- 面接練習



## Support5 説明会・相談会

学内合同説明会や企業懇談会などを開催。企業・求人情報、インターンシップ受入情報などを得る機会を設けています。さらに、卒業生ネットワークを整備しており、OB・OG就職相談会も実施しています。

## 学外施設

本学の教員や学生による鳥取県内での研究活動や地域連携、交流の拠点となっています。



### まちなかキャンパス

鳥取県鳥取市末広温泉町160  
日本通ビル3階301号室  
(JR鳥取駅から徒歩5分)  
TEL.0857-30-5501



### 西部サテライトキャンパス

鳥取県米子市角盤町1-55-2  
中海テレビ放送センタービル2階(JR米子駅から徒歩20分)(2023年度内に移転予定)  
TEL.0859-23-1311



### 岩美むらなかキャンパス

鳥取県岩美郡岩美町大谷449  
(JR鳥取駅から車で20分)  
TEL.0857-38-6704



学生サポート

教員と学生はもちろん、職員と学生との距離も近いのが本学の特色。勉強や研究のこと、学生生活の悩み、就職活動の不安など、みなさんの声に真剣に耳を傾けます。

チューター制度

学生ごとに担当の教員を割り当て、学生一人ひとりの学修目標に応じた履修指導などを行っています。履修・学生生活などで分からないことを気軽に相談できます。

オフィサー

学生が自由に教員研究室を訪ね、質問や相談ができます。週2回各90分のオフィサーを設けており、講義を受けていない学生も質問があれば訪ねることができます。



学生支援センター

学修や単位、卒業(修了)といった内容を中心に、大学生活での悩みごとについて職員が相談に応じます。また、障がいのある学生への配慮に関することについても相談に応じます。

健康管理(保健室)

講義中に気分が悪くなったり、課外活動中にケガをした場合にもすぐに適切な処置が受けられるよう、看護師が常駐しています。

- ケガや病気の応急処置
- 健康相談
- 医療機関の紹介(本学指定または本学周辺の医療機関)

こころの相談(こころの相談室)

大学生生活全般への不安、対人関係の悩みなどを、臨床心理士(常駐)とともに考えていく個別カウンセリングを受けることができます。また、学校医(メンタルヘルス)が月1回相談に応じます。

アルバイトの紹介

企業から依頼を受け、本学が学生にふさわしいと判断したアルバイトを紹介しています。また、講義サポートや聴覚障がい者への要約筆記、講義ビデオ撮影など、学内での作業やサポートのアルバイトを随時募集しています。

スクールバス

学生証を提示するだけで、通学や学外学修に便利な日本交通が運行している路線バス(鳥取駅-環境大学前間等)に乗車できます。また、土・日・祝祭日や夏期・冬期休業期間は、日本交通が運行している鳥取県東部地区の全路線に乗車できるため、観光地や中心市街地へも気軽に出かけることができます。



学納金・奨学金

本学の入学科、授業料と奨学金制度(日本学生支援機構)について紹介します。

【学納金 環境学部環境学科/経営学部経営学科】

本学の入学科、授業料は以下のとおりです。

入学料	+	授業料(2年次以降納付金合計)	=	初年度納付金合計
282,000円(県内者※:188,000円)		535,800円		817,800円(県内者※:723,800円)

※「県内者」は右のいずれかに該当する方 ●入学前年の4月1日から引き続き鳥取県内に住所を有している方 ●入学前年の4月1日から配偶者または1親等の親族が引き続き鳥取県内に住所を有している方  
入学時には別途、学生教育研究災害傷害保険、学生教育研究賠償責任保険、学生生活・学外学修交通システム(スクールバス)負担金等の諸経費として約25,000円程度が必要となります。

【奨学金制度】

本学では日本学生支援機構(JASSO)の奨学金を取り扱っています。※2、3は2020年4月から開始された新しい修学支援制度です。

奨学金の種類	種別	貸与額(月額)・対象者など
第一種奨学金	貸与(無利子)	20,000円 または 30,000円
	貸与(有利子)	20,000円~120,000円(10,000円単位)

※2022年4月現在の金額です。

1. 貸与型奨学金	2. 給付型奨学金	3. 授業料・入学料の免除・減額
<p>貸与額(月額)・対象者など</p> <p>自宅通学 29,200円 自宅外通学 66,700円</p>	<p>免除・減額の上限度額(年額)</p> <p>入学料 282,000円(県内者※188,000円) 授業料 535,800円</p>	

※住民税非課税世帯<第1区分>の場合です。世帯収入に応じた3段階の基準で支援額が決まります。 ※住民税非課税世帯<第1区分>の場合です。世帯収入に応じた3段階の基準で支援額が決まります。

1~3の対象となるには世帯収入や学業成績などの要件があります。詳細についてはJASSOのウェブサイトをご確認ください。

<https://www.jasso.go.jp/>

センパイ教えて!

公立鳥取環境大学の

魅力+を 教えてください!



「ヤギ部」の一員として活動しています!



スチューデント・commonsなどキレイな環境はうれしい!



先輩が優しくいろいろな教えてくれる!

自然が身近で落ちついて学べます!



英語力もアップ! !

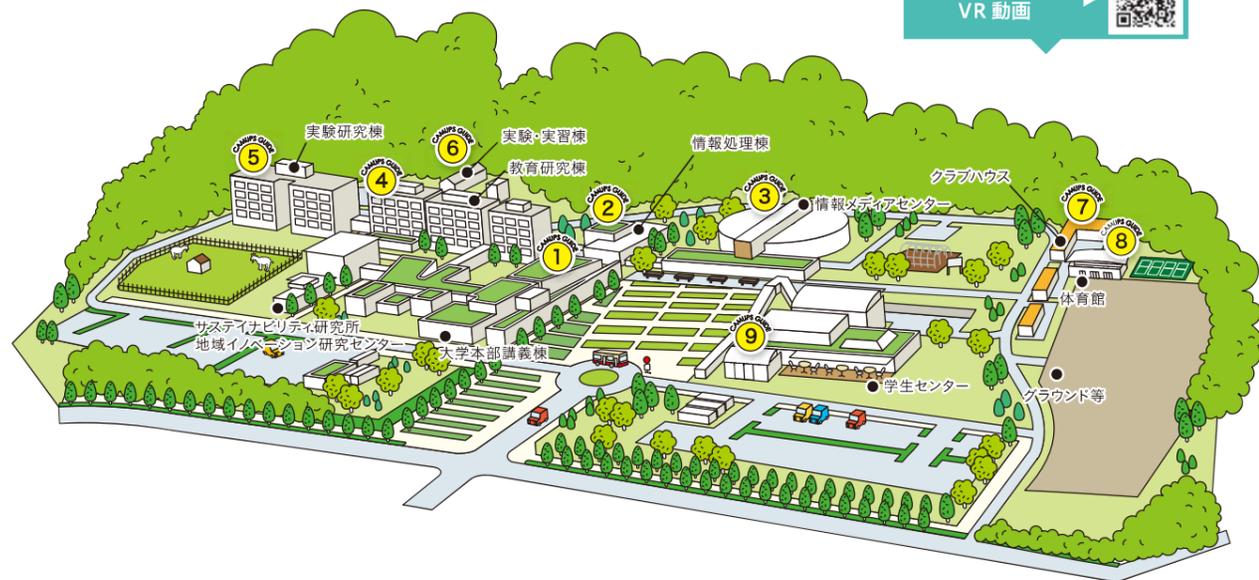


# キャンパスマップ

緑に囲まれ、落ち着いた雰囲気のカンパスに、いつでも利用可能な学生研究室、集中して学修に取り組める図書館、多くの実験室など充実した施設があります。



キャンパスツアー  
VR動画



## 1 大学本部講義棟

1階には学務課、就職支援センター、保健室、こころの相談室、2階には総務課、総合戦略課、研究交流推進課、入試広報課などがあります。



大講義室 5室(230~500席) | 中講義室 9室(各室120席)  
講義だけでなく、講演会・パネルディスカッションなど多目的に利用可能です。

## 2 情報処理棟

語学の授業で使用する少人数の教室、語学演習室があります。



語学演習室 (各室42席)

## 3 情報メディアセンター(図書館)

図書館と学内ネットワーク機器室などがあります。閲覧室前のギャラリーは、学生の交流スペースです。



図書館(閲覧室)  
約10万冊の蔵書があり、研究・学修に集中できる個人ブースやグループで学修活動を行うことができるラーニング・commons、視聴覚資料を視聴できるAVブースなどがあります。

## 4 教育研究棟

教員研究室や学生研究室などがあります。それぞれが近接しており、コミュニケーションをとりやすい部屋の配置となっています。



教員研究室  
講義の質問・相談がしやすいオープンな雰囲気。オフィスパワーとして週2回、90分ずつ全教員が研究室に待機しています。



学生の学びの拠点  
“スチューデント・commons”  
“スチューデント・commons”には次の4つのスペースを設けています。落ち着いた自由な個人学修ができる「個人学修スペース」。1・2年次のプロジェクト研究などの際にグループでの学修や話し合い、発表の準備ができる「アクティブ・ラーニングスペース」。スチューデント・ピアサポーターによる学修支援・相談を行う「サポートデスク」。授業の合間などの休憩として利用でき飲食も可能な「リラックススペース」。学生同士の学びの交流と相互啓発を創出します。



## 5 実験研究棟

環境学部の教員研究室や実験室などがあります。環境学についての幅広い分野の教育・研究を行っています。



実験室  
生物学・化学・地学・工学など幅広い分野の実験に対応した全16室の実験室を配置。ほかに、予備実験室や薬品庫、電気室などもあります。



## 6 実験・実習棟



木工家具スタジオ  
建築構造実験室

## 7 クラブハウス



3棟計40の部室からなるクラブハウス。サークル活動に利用されています。

## 8 体育館



バレーボール、バスケットボールなら2面、バドミントンなら6面で競技ができるアリーナを完備しています。

## 9 学生センター

1階には食堂と英語村、売店、2階には文化系サークルの活動もできる多目的ホールや和室などがあります。



本学食堂は、鳥取を代表する喫茶店「すなば珈琲」で有名なざんりんグループが営業しています。



売店



英語村

# キャンパスライフ

学びもそれ以外の活動も、一つひとつの経験が  
人とのつながりを深め、大きな成長へとつながります！  
大学での4年間、様々なイベントに参加してみましょう。

**1** 鳥取しゃんしゃん祭り



毎年8月中旬に行われる鳥取しゃんしゃん祭りの一斉傘踊りに多くの学生たちが参加しています。

**2** 環大コンペ



地域の企業からなる「公立鳥取環境大学を支援する会」が主催する環大コンペでは、大学生活の向上と地域社会に貢献する企画を学内から募集し、優秀企画(団体)を表彰します。

**3** 英語村



キャンパス内にある「英語村」では、スタッフの母国の文化をクイズを交えて紹介したり、料理、踊り、クラフトなどの体験ができるアクティビティを実施。英語圏にいるような空間で、基礎的な英会話スキルとコミュニケーション能力の習得を目指せます。

**4** 学生交流プログラム



海外の大学との交流協定に基づき、様々な学生プログラムを実施しています。海外の学生との交流や歴史・文化体験などを通じて、視野の広がりや成長のきっかけになっています。

**5** 環謝祭



毎年10月中旬に実施される大学祭です。大学祭実行委員の学生たちが主催、運営しています。

**6** 留学



本学の国際交流センターでは、長期・短期の海外留学や語学研修プログラムを提供しています。留学期間や内容に応じて大学から一部補助金が出ます。

出会いの数以上に成長できる！

## キャンパスカレンダー

入学式や学位授与式、大学祭などの主な年間行事を月ごとにまとめました。

4月	5月	6月	7月	8月	9月
<ul style="list-style-type: none"> <li>入学式</li> <li>フレッシュワーズセミナー</li> <li>前期講義開始</li> <li>新入生歓迎会</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト研究発表会</li> <li>前期試験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンキャンパス</li> <li>夏期休業 (8月中旬～9月下旬)</li> <li>鳥取しゃんしゃん祭</li> </ul>	

# クラブ・サークル

本学のクラブ・サークルを紹介します！  
学部や学年の枠を超えた仲間たちと  
一生の思い出を作りましょう。

活動内容など  
詳細は  
コチラから

公式WEB  
サイト



## 体育系

  
軟式野球部

  
弓道部

  
サイクリング部

  
硬式テニス部

  
ダンス部

- 空手道部 ● 硬式テニス部 ● 女子バレーボール部 ● 卓球部 ● ダンス部 ● バドミントン部 ● 陸上競技部
- 弓道部 ● サイクリング部 ● ソフトテニス部 ● バスケットボール部 ● TUESフットサルサークル ● ハンドボール部
- 剣道部 ● サッカー部 ● ソフトボール部 ● 男子バレーボール部 ● 軟式野球部 ● 水部 ● ダイビング部

## 文化系

  
ヤギ部

  
和太鼓部

  
生物部

  
箏曲部

  
TUES  
地球環境を考える会

- アカペラ部 ● 馬っ子部 ● 映像研究部 ● 手品部 ● 箏曲部 ● TUES地球環境を考える会 ● 天文部 ● 人と自然部
- 森の住人部 ● 和太鼓部 ● アトリエちゅーず同好会 ● 音創部 ● 弦楽同好会 ● 吹奏楽部 ● 地域交流部
- 文芸部 ● マーケティング部 ● ヤギ部 ● TUES English Club ● 料理部 ● 生物部 ● TUES写真部
- テーブルゲーム研究会 ● 美術部 ● 無国籍茶道部

# とっとりライフ

自然に囲まれ、学修に集中できる環境と互いに助けあえる友だちに囲まれ、充実した学生生活を送っている先輩を紹介します。

## 環境学部



渡辺 果鈴さん  
(愛知県出身)



### 古民家を改装して友人とシェア。毎日、自分らしさを実感

私は今、空き家だった古民家に住んでいます。友人と一緒に畳をフローリングにしたり、壁を塗ったりしました。道具や材料を提供してくださった地域の方たちとは、今もお米をいただくなど、よいご近所づきあいが続いています。田舎は不便さもありますが、星や空気がきれいで何より家賃がとても安い。その分バイクや車など自分の趣味に充てられるので、ドライブやツーリングなども楽しんでいます。「気になったらやってみる」が私のモットーなので、地域のイベントにも積極的に参加しています。多くの人と触れ合うことで「こんな生き方があるんだ」という発見があります。それによって自分自身の考え方も柔軟になっていく気がします。今、私には農業サークルを立ち上げるという一つの目標があります。そんな充実した毎日に、「鳥取で自分らしく生きているな」と実感しています。



## 経営学部



堀内 裕斗さん  
(島根県出身)



### 学生EMS委員会などで活動。楽しければ何でもできる

私は学生EMS委員会に所属しています。そこで畑プロジェクトなど3つのプロジェクトに参加していて、畑のリーダーも担当しています。このプロジェクトではみんながあまり知らないアロエ、パターナツツカガチャ、ハバナネロなど珍しいものの栽培をめざしていますが、いざ耕すことから始めてみると予想外に時間がかかることがわかりました。勉強も含めてやるべきことは多いのですが、あまり忙しさは感じていません。楽しければ何でもできるので、一つずつ地道にこなしています。学生生活を充実させるためには、とにかく何でもやってみる事です。いろいろなことを経験したうえで将来何かをやるときに自身の経験が活かせる、また経験則に基づいてアドバイスができるような、そういう博識な人間になりたいです。

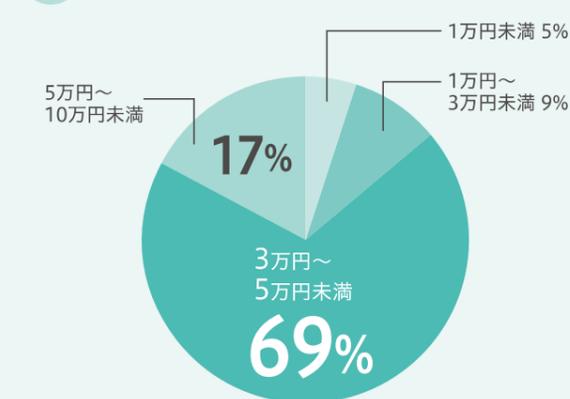


# 在学生居住データ

## 大学周辺のエリアマップ



## 大学周辺の学生向け住居家賃 ※2022年大学調べ



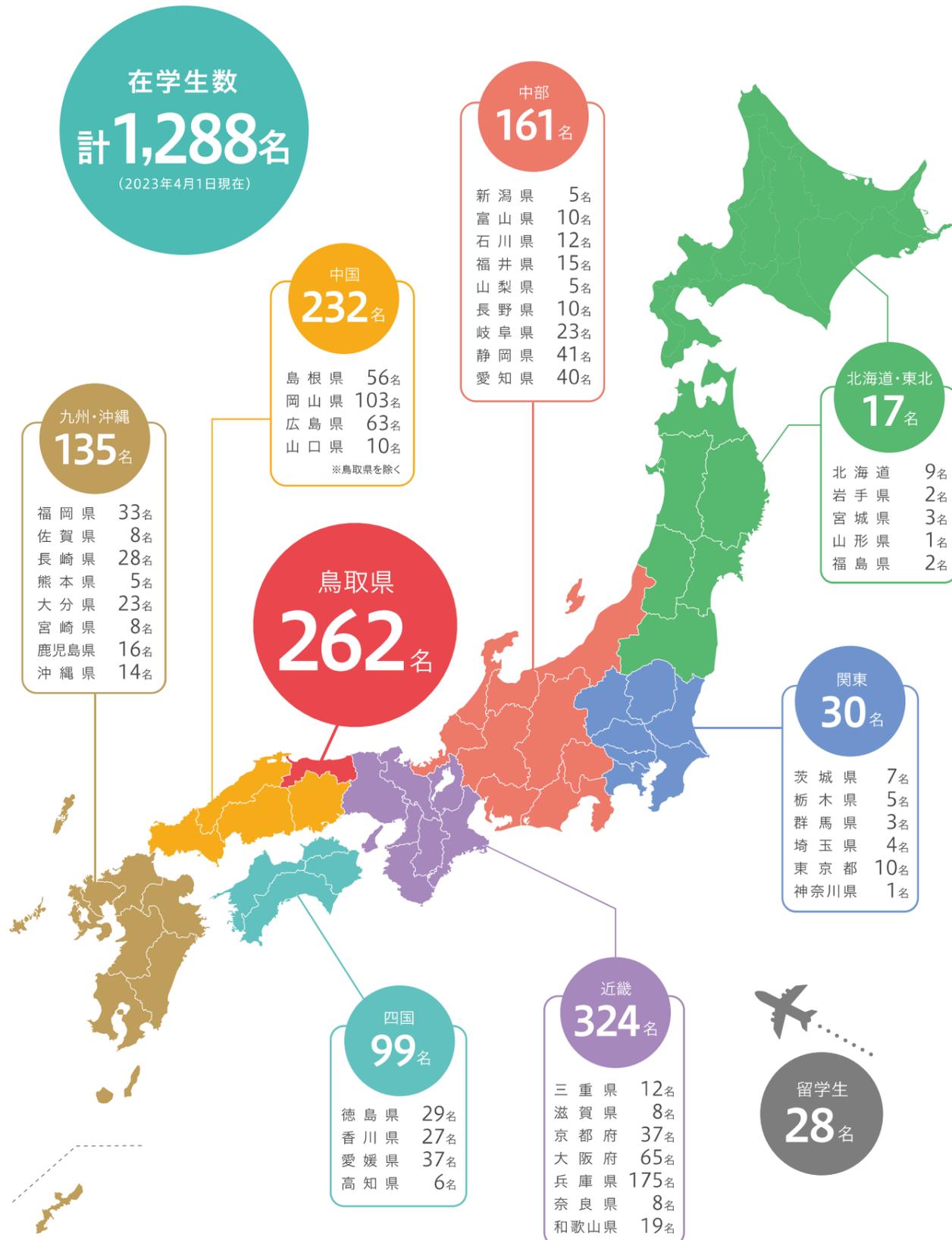
### 住居家賃の一例

【鳥取駅エリア】  
南栄町  
39,500円～46,000円

【津ノ井駅エリア】  
正蓮寺  
32,000円

# 在学生出身地

北海道から沖縄まで全国各地の学生が入学してくる本学は、注目度の高い個性豊かな大学。鳥取県にある小規模の大学ですが、研究や学生活動は全国版です。



# 入試情報



公立鳥取環境大学は「インターネット出願」を導入しています。

インターネット環境があれば、自宅のパソコンやスマートフォン、タブレット端末で出願登録が可能です。各収納機関、クレジットカード等で検定料をお支払いいただいた後に、必要書類をダウンロード・印刷し、大学へ郵送していただくことで、出願手続きは完了となります。

※日程等変更になる場合がありますので、出願手続きをはじめる前に、インターネット出願利用ガイド、学生募集要項を必ずご確認ください。(2023年8月頃、本学ホームページ上に掲載予定です。なお、紙での配布はありません。)

## [ 2024年度 入試日程(環境学部・経営学部共通) ]

入試区分	出願期間	試験日	合格発表日	試験会場	
特別選抜				本学	
総合型選抜	2023年 9月19日(火)~10月2日(月)	2023年 10月21日(土)・22日(日)	2023年 11月1日(水)		
学校推薦型選抜	I型	2023年 11月1日(水)~10日(金)	2023年 11月25日(土)・26日(日)		2023年 12月5日(火)
	II型 (鳥取県内高校出身者対象)	2024年 1月19日(金)~29日(月)	2024年 2月3日(土)		2024年 2月7日(水)
	III型※1 (鳥取県内高校出身者対象)	2023年 11月1日(水)~8日(水)	2023年※2 11月18日(土)・19日(日)・23日(木)	2023年 12月5日(火)	
一般選抜	前期日程	A方式	2024年 2月25日(日)	2024年 3月6日(水)	本学・首都圏 名古屋・大阪 米子・岡山 広島・福岡
		B方式	2024年 1月22日(月)~1月31日(水)	2024年 3月13日(水)	2024年 3月22日(金)
	後期日程				

※1: 学校推薦型選抜(III型)は環境学部のみ募集します。 ※2: 試験日は3日間のうち本学が指定するいずれか1日となります。

## [ 2024年度 入試概要 ]

入試区分	学部	募集人員	選抜方法	
特別選抜	総合型選抜	環境学部 20 経営学部 20	出願書類、模擬授業、集団面接、個別面接	
	学校推薦型選抜	I型	環境学部 30 経営学部 45	出願書類、小論文、個別面接
		II型 (鳥取県内高校出身者対象)	環境学部 10 経営学部 10	出願書類、共通テスト、小論文、個別面接
		III型 (鳥取県内高校出身者対象)	環境学部 15	出願書類、プレゼンテーション・質疑応答
	一般選抜	前期日程	環境学部 60 経営学部 50	●国語 ○地歴公民から1 ○数学から2 ○理科から1 ●外国語
		後期日程	環境学部 10 経営学部 10	○国語 ○地歴公民、理科から1 ●外国語

入試区分	学部	募集人員	共通テスト科目	個別学力検査等
一般選抜	前期日程	環境学部 60 経営学部 50	●国語 ○地歴公民から1 ○数学から2 ○理科から1 ●外国語	☆数学、生物、化学から1 ☆数学、英語から1
	後期日程	環境学部 10 経営学部 15	●国語 ○数学、理科から1 ●外国語	☆数学、生物、化学、英語から1 ☆数学、英語から1
特別選抜	前期日程	環境学部 5 経営学部 10	○数学から2 ○理科から1 ●外国語	★小論文
	後期日程	環境学部 5 経営学部 10	○地歴公民、数学から2 ●外国語	★小論文

●…必修 ○…選択科目 ★…必修科目 ☆…選択科目

## [ アクセス ]

**鳥取駅** から「バス」で約20分  
(鳥取駅バスターミナル7番乗り場より)

**鳥取砂丘コナン空港** から「車」で約30分

**津ノ井駅** から「徒歩」で約20分

**自動車**  
姫路⇄鳥取 1時間50分  
大阪⇄鳥取 2時間30分  
岡山⇄鳥取 2時間40分

**JR**  
大阪⇄鳥取 2時間30分  
岡山⇄鳥取 1時間45分